

五稜



第40号(平成12年度)

函館市立五稜中学校生徒会

五稜中学校校歌

小島昌平作詩
酒井武雄作曲

J-105-113



一 ひじがし、吉城
たなわち五稜が丘にて
若きの息吹、に夢みれ
新芽、光り立て
太、す力伸ばさん

二 さくら花
友かの堅く結びて仰
う鳥より自主の鐘の音
筆かく理想の姿、物語
あふれ、わざと字を書

行事から ~Part 1~



校内体育大会



校内体育大会



春の遠足



春の遠足



校外清掃



中体連陸上壮行式



校外清掃



校外清掃

行事から ~Part 2~



修学旅行



体験学習（魚加工）



列車内にて



体験学習（りんごの花摘み）



体験学習（バターづくり）



中尊寺



体験学習（牧場作業）



食事風景



げいび渓

文化祭



合唱コンクール



吹奏楽部演奏



一年生英語劇



「私の主張」



生徒会企画



生徒会企画



PTAゲームコーナー



学年館展示

もくじ

グラビア写真

巻頭詩	1
教育の原点	2
他人の意見を聞ける人になろう	3
我慢し頑張る心、 人を思いやる心を身につけよう	3
生徒会テーマ＆ポスター	4
生徒会新総務～この一年にむけて～	5
生徒会旧総務～一年をふりかえって～	7
生徒会一年のあゆみ	9
専門委員会～活動報告～	12
卒業生へ贈る言葉	18
卒業生へ	23
在校生へ	24
部活動 一年間の活動記録	25
栄誉を讃えて	32
思い出をこのページに残して	33
修学旅行記	40
宿泊研修記	44
学級プロフィール～1・2年～	46
校外学習体験記	50
文苑	53
・意見文	
・読書感想文	
・俳句	
・短歌	
・川柳	
教職員名簿・写真	62
編集後記	63

時計

三年五組

水澤佳子

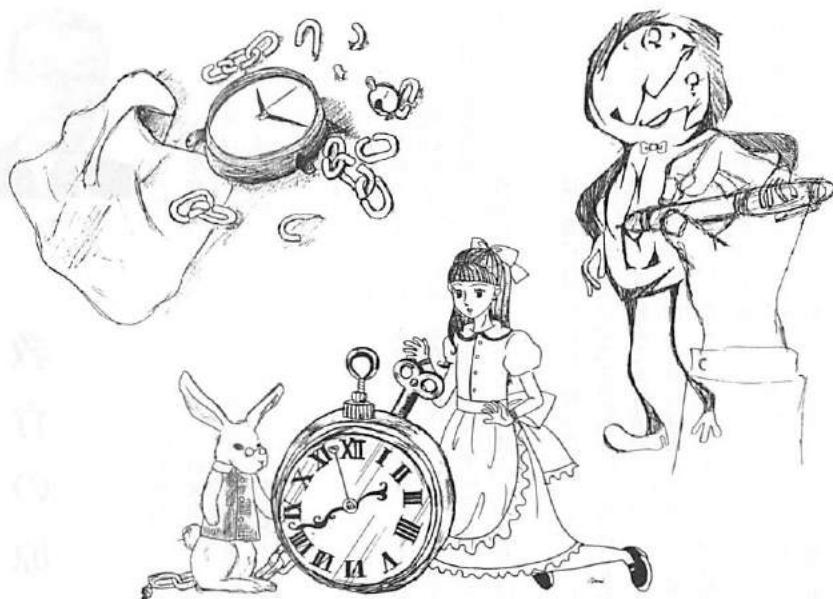
一人だと思つていたから
周りの何も見たくなかつたから
自分で時計を追めていました

でもみんながいるつてわかつた時
自分一人じや何もできなかつて思つた時
そんな時計のネジを巻き直しました

だけどそれは本当の終わりの少し前で
自分一人が何よりも身勝手だといふ事に気づき
そしてひどく後悔しました

もうこんな事は繰り返したくない
一人じやないから出来たこと
みんながいたから出来たこと
それを時計に刻みたいのです

過去の後悔
いつかは時となり
針と共に止まつてゆく
そんな少しの期待が
また時計を追めていきます



教育の原点



学校長 佐野 武

昨年四月、本校に赴任して二十一世紀の幕開けを迎える。一年を経過しようとしている。平成十四年度（二〇〇二年四月）から毎週土曜日が休日となり、完全学校週五日制が実施される。その実施に伴い学校教育の基準である新しい学習指導要領に基づき学校教育がスタートする。今年度、来年度は、その新しい学校教育に対応するための準備期間である。

新しい学習指導要領が「どのような子供の育成」や「どのような学校づくり」を目指しているか、そのねらいを述べてみたい。

- ① 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成すること。
- ② 自ら学び、自ら考える力を育成すること。
- ③ ゆとりある教育活動、基礎・基本の定着、個性を生かす教育を充実すること。
- ④ 各学校が創意工夫し、特色ある教育、学校づくりを進めること。

この①～④のねらいの背景には現在、急速に、しかも激しく変化する社会への対応とそれに伴い生じた様々な課題の解決など学校教育に対する社会的な要請と、さらには子供を取り巻く環境の変化により、これまでの指導経験では予測できない問題状況が生じてきているところにある。このような社会の変化と子供たちの発達上の諸課題を踏まえ、将来を担い、生き抜く子供たちに「生きる力」を育成することが求められている。

この「生きる力」は、常に自分の存在と他の存在を意識し、共に生きていこうとする行動力のある心豊かな人間の育成を目指している。

今回の特色の一つとして、「総合的な学習の時間」が新設されたのは、急激にしかも複雑に変化する社会に具体的に対応できる「生きる力」を育成するためで、各学校が「特色ある教育活動」を創り出し、その成果が上がるよう、また、国際理解、環境問題、情報、福祉、健康安全など、社会の進展により生じた様々な教育課題を各教科や道徳、特別活動にまたがって集中的に学習するためである。

この新しい教育に対応していくため、学校は家庭、地域の信頼に応え、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、これまで以上に我々教師の指導力も高めていかなければならない。

子供の健やかな成長のため、今何よりも大切なのは、学校の場だけでなく「学校、家庭、地域の三者が力を合わせること」である。親は子供にとって、人生最初の教師であることから「教育の原点は、家庭である」と言われる。今後、三者が協力し、一体となり、相互の責任を自覚し、子供の教育環境を整え、相互の教育力を生かし、高めていく教育を一層推し進める努力が必要である。

他人の意見を聞ける人になろう



P.T.A.会長 近 藤 和 行

我慢し頑張る心、
人を思いやる心を身につけよう



教頭 山本俊秀

子供に対して、自分の意見をきちんと言える人になれ、と教育する親は多いと思うが、それと同時に大切なことは、他人の意見を最後までしっかりと聞ける人になることである。このあたりをしっかりと教えてやりたいものである。

誰もが平等であるということは、誰もが、言い分をきちんと聞いてもらえるということで、そのために他人の意見を聞く態度を教えてること。これが教育の根本ではないか。

よく日本人は話し合いが下手だと言われるが、お互の意見が食い違った時に、考えが違つて当たり前とは思わず、そのまま、感情的対立に走りがちである。

他人同士では、感情から思考、生き方まで違つて当たり前と認め合うことが、重要である。

お互に耳を貸さず、言いたいことを言い合うところでは、望ましいコミュニケーションは成り立たない。

相手の立場や意見を理解しようと努力することが大切だと思う。もちろん、聞きつけなし、影響されつけなしでも困るが、他人の意見を最後まで聞いたうえで、自分の意見を加味して、話し合いができることが大切なのである。

意見は、言うことが素晴らしいわけではない。何を言つたかが問題で、さらに、聞く人にその内容がいかに正確に伝わっているかどうかが最も大切である。

一時「見えない学力」が話題になった。点数で現されるものではなく、その人が身につけている「人として必要な素養」のことである。ともすると、私たちは「表面」や「結果」に出る要素に気を奪われやすい。しかし、その人の「個性」は、実は点数や結果だけではなく、いかにしっかりと「心」を身につけているかなのである。

その「心」とは、人を思いやること、苦しいときにも投げださずに物事にとりくむこと、人とともに協力すること、人の意見を素直に聴くこと等ができるのである。さて、皆さん自分のことを振り返つてみて欲しい。自分の仕事に手抜きをせず責任をもつて取り組むことを日常から心掛けているであろうか。人が見ているからするのではなく、自分の仕事であるから責任をもつてするのであるが、人は弱い心をもつていて「楽なこと」「楽な方法」を選んでしまう。そ

こで育つ心は「逃げ出す心」「つらいことはしないでますましてしまう心」である。いつまで逃げるつもりであろうか。人生のどこかの時期に身につけなければならない「心」が今までたつても身に付かず大人になつっていくとしたら、今年の成人式の若者のような行為も平氣でしてしまうようになつていくであらう。

中学生の今の時期に「自分の心」についてもう一度見つめ直してみよう。「我慢する心やつらいことも耐えて頑張る心」「人を思いやる心」が自分の中に育つてあるであろうか。学校は点数で現されることばかりを学習するところではない。しっかりと「心」を育てるところもあるのだから。

平成12年度 生徒会テーマ

BE ACTIVE IN DOING

— 行動に自主性を —



生徒会新総務

～この一年にむけて～

会計	書記	会長
渡辺 結衣	伊藤 祐樹	藤島 直哉
寺内 真	多田 莉彩	副会長
石川 洋平	大塚 真衣	書記
		会長

新生徒会総務



自主性を心掛けて

会長 藤島直哉

僕が会長になろうと思った一番の理由は、今の自分自身の力で何ができるのか確かめたかったから、どんな可能性を持つているのかを、五稜中の代表になることで、自分に今、欠けているものを見いだしたいと思ったからです。

今まで僕は、会計として約一年やつてきました。ですが、会計なんて名ばかりで、先輩に頼りっぱなしで、自主性が全くなかったと思います。今回の生徒会テーマ「BE ACTIVE IN DOING」行動に自主性を」に基づいて、今年は自分らしさを存分にアピールして行きたいと思います。会長になりたての頃は、自分に五稜中学校の代表としてやっていけるのか、とても不安でした。でも会長になったからには、自分の持てる力の全てを出し切り精一杯仕事をする覚悟です。五稜の生徒の目標になるように、挨拶も自主的にしているこう思います。

一つ一つの行動をする前に、これからすることはよい事か悪い事かを判断できるような生徒で満たせるように努力するつもりです。

今年は、五稜三訓の一つ「すすんで清掃、きれいな学校」に基づいて、清掃活動にも力を入れたいと思います。できれば、ペルマーカ集めなどのボランティア活動もできればいいと思います。

残りの任期、生徒会の底力、自分の熱い会長魂、存分に見せつけ行いくつもりです。これからも少し頼りないこの会長を支えて下さい。どうぞよろしくお願ひします!!

◎ 副会長になつて

副会長 寺内 真

◎ 新生徒会書記として

書記 大塚 真衣

ぼくは何かにつけてめんどうくさいという気持ちになつてしまひます。特に勉強は一番めんどうくさいと思います。しかし、副会長になつてから少し考えが変わりました。自分に与えられた仕事は責任を持ってやると決めています。そして、普段の生活においてもけじめを持とうと思っています。これから、副会長という自覚を持ち、しっかりと地に足をつけて一步一歩前進していくと考えています。

◎ 生徒会副会長になつて

副会長 多田 莉彩

◎ これから的事

会計 伊藤 祐樹

私は、生徒会副会長としてこれから一年他のメンバー達と、この五稜中を楽しく、そして明るくしていきたいと思っています。それともう一つ、今までの生徒会を見習い、自分達の生徒会を作りあげたいと思っています。副会長になりたてで、わからないことがたくさんあると思いますが、会長や書記・会計と協力して頑張りたいと思いますので、みなさん、よろしくお願いします。

◎ 書記になつて

書記 石川 洋平

◎ 生徒会役員になつてみて

会計 渡辺 結衣

僕は今回生徒会に立候補して、なんとか書記に当選することができ、引き受けるからには責任を持つてがんばろうと思いました。僕が生徒会でやりたい事は、生徒一人一人が参加できる生徒会を目指し、楽しい学校をつくることです。生徒会役員はみんなの代表ではなく、サポートーーだと思っています。僕達を応援してくれた人達がフィールドに立つ代表で、それを裏方で支えるのが生徒会だと思します。共に学び、つくる生徒会にこ意見、応援よろしくお願いします。

これから、生徒会会长、副会長、書記のみなさんと力を合わせて立派な五稜中学校をつくりていきたいと思っています。

今回、生徒会書記をやらせてもらつことになりました、大塚です。前回、旧生徒会として会計をやつた私ですが、前回の時よりもやる気と、自信に満ちあふれています。

これから、生徒会書記として、生徒会をやっていく訳ですが、私は、新生徒会の皆さんとともに、よりよい生徒会として、やっていきたいと思っていますので、どうぞ、よろしくお願いします。

生徒会旧総務

～一年をふりかえって～

会計	書記	副会長	会長	井口由紀乃
大塚真衣	藤島直哉	水戸部有華	大友裕子	熊谷宇見

旧生徒会総務



会長という任期を終えて

会長 井口由紀乃

自分の意思で会長に立候補し、任命されてから一年が経った今、私は任期を終えました。この一年を生徒会総務として過ごし、感じたことは、思いついたことを実行する難しさです。色々なアイディアは思い浮かぶのですが、その半分以上を実行できないまま任期が終わってしまいました。ですから、何がまだものたりない気持ちが心に残っています。新生徒会総務のみなさんには、こんなことにならないように、どんどん色々なことに挑戦していってほしいです。

しかし、任期を終えた私が感じているのは、後悔する気持ちだけではありません。もちろん、会長を務めたことで成長できた部分もたくさんあります。例えば、毎回集会にある「生徒会長のあいさつ」のおかげで大勢の前で話すことに慣れることができました。それに、文化祭など、行事をつくる立場になり、成功したことにより達成感を味わうことができました。

一年をふりかえってみると、多少の困難はあったものの、なんだかんだいってとても楽しい生徒会でした。

そして佐藤先生には本当に心から感謝しています。当たり前ですが、先生なしでは私達総務は何一つとして仕事をやりとげることができなかつたでしょう。本当にありがとうございました。また、同じくらい感謝したい人は、いつも廊下でれちがう時に元気よくあいさつしてくれた人達です。色々な仕事が重なり、忙しい時には、そのあいさつがあつてこそ、がんばることができました。

最後に新生徒会総務の7人へ。悔いの残らないようがんばって!!

◎ 生徒会副会長を終えて

副会長 中谷 準

中学一年から、中学3年の秋まで生徒会活動にたずさわって本当に充実した中学生活を送れたと思う。いつの間にか、もう二年間が過ぎて、少しさびしい感じもするけど、3年生になってから後悔したことはないのでとてもよかつたと思う。生徒会副会長になつてからいろいろと大変なこととか、生徒会の人にも迷惑かけたこともあってちょっと今でも反省している。これから生徒会の人たちには僕にできなかつたようなことをやってほしい。

◎ 充実した一年間

書記 大友 裕子

私は、生徒会会計、副会長と、二年間生徒会活動を行つてきました。その中で、色々なことにチャレンジしたことにより、自分自身がとても成長できたように思います。また、二年間この生徒会でがんばつてこれたのは、支えてくれた生徒会役員のみなさんと、先生の方の力強い助けがあつてこそです。本当に有難うございました。生徒会で得た貴重な体験を生かし、これからもがんばります。最後に新生徒会の皆さんがんばつて下さい。期待しています。

◎ 生徒会書記を終えて

書記 水戸部有華

一年間という短い間で私は、色々なことを経験しました。その中でも文化祭は、私にたくさんのこととあたえてくれたと思います。新しいものを作るチャレンジ精神の大切さや難しさ、そしてこの仕事をたいへんなど自分に足りなかつたものに気付かされることもありました。最後にお世話になつた総務の先生方、総務の皆さんありがとうございました。そして新総務の皆さんがんばつて下さい。

◎ 実り多き一年間を終えて

会計 藤島 直哉

会計になつてから一年がたち、今、やつと落ち着いています。振り返つてみれば、この一年間は、いろいろなことがありました。体育大会、中体連、文化祭など、何もかもが新鮮だった一年間。先輩や先生方に頼りきりだった自分が、ここまでやつてこれたなんて、正直言つて驚きです。それも、今まで支えてくれた先生方や先輩、それに周りの人たちのおかげです。これからは感謝の気持ちを大切にして、会長として新鮮な気持ちで臨んで行きたいと思います。

◎ 生徒会を終えて

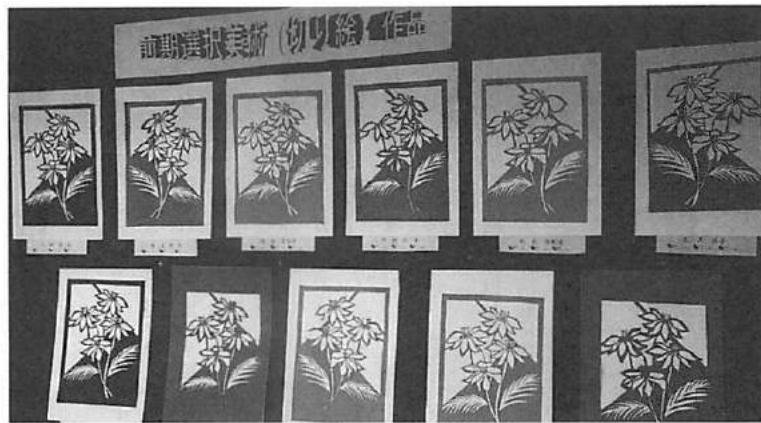
会計 大塚 真衣

旧生徒会を終えて、私は、二つ教わりました。一つ目は、全校生徒が、真剣に集会等を取り組める様に頑張った生徒会会长や、副会長、書記等の団結力と一生懸命さです。

二つ目は、よりよい学校生活のために何度も教室に集まつて、生徒の事を考えた先生方の思いやりや優しさです。

この一年間、生徒会会計としてやつてきて、たくさんのこと学び、色々なことを知りました。最後に皆さん、本当に有難うございました。

生徒会一年のあゆみ



もうじき今年度も終わりを迎えるとしています。皆さんにとって今年一年はどうだったでしょうか。部活動に力を入れた人、勉強に専念した人など様々だったと思います。三年生にとっては進路決定の重要な年に、二年生にとっても、次の学年への飛躍の年になったと思います。

このページでは様々なできごとがあつた今一年一年の生徒会活動について、振り返ってみたいと思います。

◇ 入学式・一学期始業式

小学校を卒業したばかりの初々しさが残る姿で登校する新一年生。制服での登校や教科担任制など、今までとのギャップはあっても新入生の表情は、今までどちがう環境においての前向きな気持ちや真剣さがひしひしと伝わってきました。



月

◇ 第四十回校内体育大会

新しいクラスになつて間もないにもかかわらず、どのクラスも素晴らしいチームワークを見せてくれました。個人競技においても一人一人が真剣に一生懸命に取り組んでいました。きっと忘れられない思い出になったことでしょう。



月

◇ 新入生歓迎会

この日、新一年生は初めて在校生と対面し、在校生による生徒会活動の説明や部活動の紹介などが行われました。

◇ 認証式・専門委員会

それぞれの専門委員会の代表者が任命証を受け取り、半年間にわたる専門委員会が始まりました。

六月

◇ 生徒総会

今年の生徒会テーマ「Be Active in Doing」にもとづき、各クラスから種々多様な意見が出され、今年度の生徒会活動における指針が定められました。

◇ 中体連陸上競技大会

校内体育大会などにおいて選抜された選手達は、練習中でも本番当日でも一生懸命にまた真剣に取り組んでいました。

◇ 校外清掃

各学級ごとに清掃範囲を分担して行いました。生徒全員がボランティア活動について認識できたと思います。AETのロバート先生も一緒に参加していました。

七月

◇ 中体連総合大会

各部活動のキヤブテン達からのコメント通り、どの部活動も優勝をめざして真剣に一生懸命に試合に臨んでいました。



◇ 亀田川清掃

早朝の参加にもかかわらず、半数近くの生徒が参加し、ボランティアに汗を流しました。

◇ 一学期終業式

思い出深い一学期も終わり、それぞれ楽しく過ごした夏休み。そして二学期へ…。

八月

◇ 二学期始業式

一年で一番長い二学期が始まりました。

◇ 文化祭実行委員会発足

文化祭テーマは去年よりもっと進化した、「Be Active in Doing」に決まり、実行委員会企画では、皆が楽しめる斬新で様々な意見が出されました。

九月

◇ 校外清掃

春と同様に、全員参加で行い、生徒全員がさらにボランティアについての認識が深まつたように見えました。

十一月

◇ 第四十回文化祭

昨年同様一日目は芸術ホールで、生徒一人一人がつくりあげた美しい歌声や吹奏楽部の素晴らしい演奏が響きわたりました。

二日目は体育館で行われ、文化祭実行委員会企画では最高の盛り上がりで大成功となりました。

十一月

◇ 生徒会役員選挙・認証式

役員選挙では、どの候補者も熱意あふれる立派な演説をしていました。見事当選した人は、それぞれ新生徒会総務としての自覚を感じた事と思います。



十二月

◇ 二学期終業式

ここで、充実した二学期が終わり冬休みへ入りました。

十二月

◇ 三学期始業式

一年間のラストストップとなる三学期が始まりました。

十二月

◇ 卒業式・終了式

三年生は思い出深い、この五棱中学校とうまくから、一人一人自分達の新しい希望の世界へ翔いていきました。また、この一年間で生徒一人一人がひと回りもふた回りも大きく成長することができました。

いかがでしたでしょうか?今年一年間を振り返ってみると本当に色々なことがあったと思われます。来年も今年以上に充実している一年間になることを期待しています。

専門委員会～活動報告～



代議員をやつて

代議員会

代議員の仕事をしたがる人は、あまりいな
いと思います。だけど、この仕事は、どの委
員会よりも楽しいと思います。確かに、大変
な事もありますが私はやりがいがあつてとて
も好きです。

3年生になると修学旅行実行委員会などの
仕事もあります。自分達で準備をして、実行
をすることもとてもいい経験になりました。

今年は初めて後期も代議員をやりました。
後期は、文化祭があり、生徒会寒行委員会で
企画を立てたりと少し忙しい時もあったよう
に思います。しかし、中学校生活最後の文化
祭というせいもあつたのか、あまり大変には
思いませんでした。

私は、3年間この仕事をしてきてとてもよ
かつたと思います。なぜなら、生徒会の皆と
代議員の皆と、そして、佐藤先生、桑野先生
と一緒に仕事を楽しくやつて来れたからです。
これから新しく委員会を決める時は、一度
は代議員になつてみて下さい。

最後に、お世話をなつた先生方、どうもあ
りがとうございました。（笛谷 雪絵記）

学習委員になつて

学習委員会

学習委員会の仕事は、主にテスト予想問題
の作成です。他に仕事はほとんどなく思つて
いたよりずっと楽な委員会でした。でも、テ
スト予想問題を作るときは、先生がどんなテ
ストを作るか考えるのが大変だったと思いま
す。だけど、決められた日までに提出しない
人がいて、何教科か予想問題がないのがあり
ました。みなさんごめんなさい。

他の委員会に比べて仕事は少なかつたけど
テスト予想問題を通してみんなのテスト勉強
の手助けができると思いました。そういう面で
学習委員になつて本当によかったです。

最後に、笛谷先生、田中先生いろいろあり
がとうございました。あと、学習委員として
がんばつてくれたみんなありがとうございました。

（磯西 里香記）

生活委員になつて

生活委員会

生活委員会の主な仕事はあいさつ運動です。毎日8時5分までに登校し、朝の打ち合わせをして、それから玄関に立つてあいさつ運動をしています。これはとても忙しくて、たいへんな仕事だと思いますが、社会に出たとき、あいさつが一つもできない大人にならないためにも、あいさつ運動を続けてほしいと思います。

他の仕事は週番引きつぎのときの、目標や注意事項を考えるのですが、これもたいへんな仕事です。前の週の反省点をいかして、目標を決めるのはそう簡単な仕事ではありません。その他、遅刻する人をかぞえたり、集会の時に、みんなの列のうしろに立つて、ずれている人がいないか、確認したりするのも、生活委員会がしなければいけない仕事なのです。

生活委員会に入つて、たくさんのこと学び、本当に役に立つたと思います。これから生活に生かして行きたいと思います。

最後になりましたが、今までお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

(高橋 広大記)

体育委員を経験して…

体育委員会

体育委員会に入り、体育委員長を経験した私は、自分自身に大きな自信がつきました。みんなの中心となつて仕事を行うことで、責任感も増したと思います。私は今まで、委員会はずっと入つてきましたが、委員長になつたことがなく、最初立候補する時は少しとまどいがあり緊張感がありました。しかし、前からこういう皆の前に立ち、責任の大きい仕事をしてみたかったので、思つたよりもすぐに手が挙がりました。自分では不安で不安でしかたない気持ちでしたが、何事もチャレンジだと思い、自分ができる精一杯のことをしようと思いました。

体育委員長として活動した半年間は、はじめは長く感じていました。一生返つてみるとすごく短い半年間でした。一生懸命やると何事も短かつたようにも思えるのです。いずれにしても、私は、体育委員長をやつて損をした事は全くありません。全て自分にプラスだったと思います。

後期となり、保健委員長がとても責任感の強い人となり、保健委員会は更に活動が活発になったと思います。三年生の卒業後、在校生として今の一、二年生はそれぞれ委員会に入りますが、時間を使つて、来年度は更に活動を活発にするようにがんばつて下さい。

(渡辺 俊亮記)

保健委員を終えて

保健委員会

文化委員について

文化委員会

文化委員会は、実は二つの係に分かれているということをみんな知っているでしょう。一つは越田先生率いる掲示係、そしてもう一つは大宅先生率いる図書係です。この二つの係は全く別々に活動するため、最初の専門委員会の時以外、一緒に集まって何かするということは全然ないのです。ちなみに私はこの委員会に入るまで知らなかつたわけですが、少人数なのでけつこうやりやすい面もあつたりするのです。

私が入っていた掲示係のほうは主に掲示物のはりかえをしていました。仕事はたまにしかないのでけつこう樂をしていましたが、文化祭のボスター・コンクールの票の集計などはとても大変だったのを記憶しています。

一方、図書係のほうでは学級図書の貸し出し等をやつていたようで、図書室での整理をしているのを何度も見かけました。

このようにそれぞれの係で活動している文化委員会ですが、地味ながらもきっと役に立つていることでしょう。けつこうおもしろかったのでやつてよかつたと思いました。

(塚谷 桃子 記)

ボランティア委員会を終えて

ボランティア委員会

今年のボランティア委員会では、昨年まで企画には出ていたものの行動に移すことができなかつた野外劇参加を実現することができました。何度も委員会を開き、参加についていろいろな事を決めました。委員の人達も協力的に意見を出してきてとても助かりました。当日には菊地先生や教頭先生が来てください、とてもいい経験をしたと思います。

他に、ボランティア委員会では、花壇造りや文化祭で活動をしましたが、特に大変な仕事もなく、楽しんで仕事をすることができます。

花壇造りは、学年で分担し、水やりをほぼ毎日やりました。水やりはたえることはなく、他の人が忘れてしまつた日も必ず代わりに誰かが水を与えていました。その結果花はきれいに咲き先生達もほめられました。

今年のボランティア委員の人達には、どんどん新しい事に挑戦し、ボランティア委員会をもっと活動的なものにしてほしいと思いま

(近藤 由梨 記)

選挙管理委員の仕事

選挙管理委員会

選挙管理委員会は、選挙が近くになると動きたず特別委員会である。しかし、選挙が近くならないと特に何もしないのではつきり言うと一年で三回しか集まって仕事をしたこと以外には、何もしていない。

僕は、一年生のとき一回委員会をやつたことがありこれが二度目であった。その二回の委員会でおもしろかったのは、開票作業である。開票作業は間違わないよう一票ごとに緊張感が漂う中で行われたが、とても残念なことが二つある。一つは、候補者が一生懸命に演説をしているのに聞いていない人がいることと、開票作業をしているときに、マルをつけるだけなのにマルに何かをつけ足していくその票が無効になつてしまふことです。

五稜中を代表する人を選ぶ選挙なのでしっかりと聞き、書いてほしいです。生徒会役員選挙は、遊びではないのでこれからしっかりとしてほしいです。

三年生は、もうこれで最後となりますが、次の選挙では、後輩達にこのようなことが少なくなるようにがんばってほしいです。

(石井 秀平 記)

応援団

放送局

実を言うと、応援団にだけはなりたくないかった。そんな気持で始めた応援団。しかも、団長。本当に僕なんかに務まるのか?と思つていざ活動を始めてみると、思つてはいたよりみんなちゃんと参加してくれたし、よりよいものにできたと思う。点数をつけると95点くらいだろう。まずはのできだつた。これも団員のみんなや鶴先生のおかげだと思つていい。みんな委員会などの各自の事情で忙しかつたはずなのによくやつてくれた。みんなどれだけ大変だつたらうか。三年生男子にとっては大声を出すことさえかなりきつい事だと言えるだろう。

さて、何で95点?なんて思つた人もいただろうが、僕はこう思つている。

「去年より今年、今年よりも来年とこれが最もつともといい応援にしていつてもらえる事を後輩に期待していきたい。」

最後に団員、鶴先生、本当にみなさんの力だと思つています。こんな僕を支えてくれてありがとうございました。

(横山 泰孝 記)

「去年より今年、今年よりも来年とこれが最もつともといい応援にしていつてもらえる事を後輩に期待していきたい。」

最後に団員、鶴先生、本当にみなさんの力だと思つています。こんな僕を支えてくれてありがとうございました。

私は二年生の時も生徒会誌の文章を書きました。その文章の終わりはたしか、暁の放送ができるようになりたい。と書きました。その思いが、三年の春過ぎにかないました。暁の放送ができるようになると聞いた時はすぐうれしかつたです。でも一番最初の放送は休み時間に何度もリハーサルをして本番にのぞみました。それでも本番は、ものすごく緊張してしまって、時々声が出なくなりそうになりました。しかし、第一回目の暁の放送は無事に終わりました。今ではオーブニングの言葉くらいなら、原稿がなくても言えるようになります。意外と早く慣れたので自分でもびっくりしているくらいです。

朝と暁の放送をやってきた一年間を思いかえしてみると、担当の大宅先生にたくさんわがままなことを言つて困らせてしまったと思いました。先生には本当にいっぱいお世話になりました。本当にありがとうございました。今まで一緒に活動してくれた放送局のみなさん、ありがとうございました。後輩のみなさんはこれからも放送をがんばってください。

(丹羽 彩香 記)



平成12年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(前期)

	3 A	3 B	3 C	2 A	2 B	2 C	1 A	1 B	1 C
代議員長 副	鈴木 将之 笹谷 雪絵	花田 健 竹内ひとみ	長内 博 太田 良美	佐藤ありす 坪川 祐太	酒井 達矢 山本 理恵	大内ももこ 久米 賢	吉田 幸博 片桐 奈美	高橋 綾花 對馬 隆元	中西 理沙 澤村 謙太
生 活	渋川 慎平 西川 潤 須佐三菜子 田中 育美	高松 広大 仁木 稔平 小野 直美 杉本沙哉佳	高橋 一二三 高橋 正文 齊藤 純子 山田 幸岐	柴田 一洋 高橋 和也 日下 朋美 佐藤 藍子	加賀谷 仁 森 浩平 佐藤 仁美 藤野 唯	近江 紗幸 成田 晃 工藤 幹子 横山和貴子	高橋 和也 山内 直樹 笠原絵梨香 信田 真利	赤石 徹朗 古村 侑也 杉本 真衣 千場衣知乃	伊藤 純樹 辻田 珠理 木本由希奈 佐藤あかり
学 習	中山 竜次 今野あさみ	神 和彦 島村 智子	井田 春希 三国 栄弥	対馬 康太 平松 朋恵	船山 貴裕 阿部あゆみ	佐々木祐貴 本間久美子	中川 昌太 和泉 愛美	花田 宗平 村上 佑奈	阿波加 慎 砂子田美希
体 育	傳福 佳貴 高橋 弓子	下川原星矢 武田 真依	竹内 亮人 上戸 晶子	島田 京介 伊藤 正枝	宮崎 剛 星賀さとみ	瀬戸 智里 藤井絵理華	近藤 由規 鎌田 遙	濱地 直宏 渡邊 結衣	今野 翔 山村 明未
保 健	下川 悠太 鶴見 清香	敦澤 佑太 杉山明日香	渡邊 俊亮 齋藤 美絵	小川 隆一 阿部真由子	瀬戸 貴志 張磨 眞帆	小野 佑輔 山田 愛	赤石 卓也 渡邊亞祐美	小山内 健 横山 博美	櫛引 亮 松本 優美
文 化	吉村 裕愛 磯西 里香	齊藤 荘介 芦崎真理菜	浅井 亮太 塙谷 桃子	鎌田 群 松田なぎさ	横山 和博 伊藤紗智子	山谷 佳祐 東 晃子	辻 隆寛 川村佳菜恵	上杉 健太 下村 美和	高橋 裕司 渡辺 清美
ボランティア	鎌田 大輔 田中 美子	横山 泰孝 近藤 由梨	高崎 雄太 根本 雅美	橋本 智 水戸部美来	富原 翔平 松木 千衛	吉塚 竜也 久末 梨奈	小山 勝也 丹羽 裕香	西村 瞳朗 天満 幸保	斎藤 慧太 田中 友未
学級書記	吉田 怜未	福森 あい	林 真奈美	関口 百子	太田 博文	横内 亜弥	金 銀人	田中亜希子	久保田大輔
学級会計	高橋 昌大 山口 美鈴	野口 昌保 水澤 佳子	長内 雄太 水上 結子	宮田 諭 及川 朋美	福岡 正博 水元 聖子	小上 優 増谷 美里	松葉 俊宏 中村佳菜子	伊藤 優樹 出村 春香	古館 隆一 内川 由貴
選挙管理	石井 秀平	上遠野良平	林 真奈美	関口 百子	石川 洋平	高畠 美里	高橋 亨	塙谷 善介	久保田大輔
応 援 団	高橋 昌大 西川 潤	小島 侑也 神 和彦	長内 雄太 渡邊 俊亮	坂本 涼 藤澤 真介	寺内 真 谷口 尚広	工藤 充 中江 啓太	川村 裕二 岡部 広大	遠藤 直也 中山 拓也	木田 晶大 植木 僚祐
放 送 局	井口由紀乃 大友 裕子 笹谷 雪絵 吉田 怜未 下川 悠太	島村 智子 村田 友花 森 ちひろ	高崎 雄太 塙谷 桃子 丹羽 彩香	平松 朋恵 増野 幸子				伊藤 優樹 上杉 健太 下村 美和 杉本 真衣 高橋 綾花	原田 上総 佐藤 綾香 篠崎 菜摘

平成12年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(後期)

	3 A	3 B	3 C	2 A	2 B	2 C	1 A	1 B	1 C
代議員長 副	下川 悠太 笛谷 雪絵	武田 真依 小島 侑也	渡邊 俊亮 塚谷 桃子	坪川 祐太 松田なぎさ	酒井 達矢 水元 聖子	久米 賢 大内ももこ	近藤 由規 信田 真利	濱地 直宏 下村 美和	澤村 謙太 木本由希奈
	渋川 悅平 行田 拓郎 伊藤 理恵 竹内あゆみ	上遠野良平 中谷 準 小野 直美 杉本沙哉佳	山内 貴司 井田 春希 齊藤 純子 佐藤恵美子	柴田 一洋 高橋 和也 及川 朋美 閑口 百子	富原 翔平 横山 和博 佐藤 仁美 藤野 唯	小野 佑輔 小上 優 工藤 幹子 増谷 美里	石田 廉大 鈴木 拓哉 丹羽 裕香 中村佳菜子	花田 宗平 高村 繁幸 杉本 真衣 高橋 えみ	古館 隆一 辻田 珠理 佐藤あかり 田中 友未
生 活	森 弘太 磯西 里香	下川原星矢 掛端 泉	高崎 雄太 水野 納里	坂本 涼 伊藤 正枝	船山 貴裕 阿部あゆみ	佐々木祐貴 本間久美子	赤石 卓也 演道 萌	高橋 翔悟 高橋 縷花	工藤 洋司 渡辺 清美
	傳福 佳貴 大友 裕子	高松 広大 杉山明日香	泉 翔太 齋藤 美絵	對馬 康太 平松 朋恵	大島 力 星賀さとみ	成田 晃 藤井絵理華	山田 拓郎 片桐 奈美	西家 雅人 田中亜希子	今野 翔 山村 明未
保 健	高橋 昌大 井口由紀乃	敦澤 佑太 佐藤 愛	浅井 亮太 上戸 晶子	島田 京介 阿部真由子	宮崎 剛 酒井亜沙美	瀬戸 智里 山田 愛	辻 隆寛 笠原絵梨香	古村 侑也 横山 博美	木田 晶大 内川 由貴
	飛山 雄也 土橋 愛美	野口 昌保 森 ちひろ	長内 雄太 太田 良美	早坂 隆弘 日下 明美	森 浩平 堀見 紗子	岡部 一也 東 晃子	生島 裕希 渡邊亜祐美	上杉 健太 千場衣知乃	高橋 裕司 砂子田美希
文化	小林 俊之 高橋 弓子	太田 靖人 房田 麻美	田中 克明 三国 栄弥	橋本 智 佐藤 藍子	一戸 翔太 張磨 真帆	吉塚 竜也 横山和貴子	高橋 和也 門傳 彩夏	佐々木大輔 天満 幸保	齊藤 慧太 山田奈里美
	ボランティア	吉田 怜未	村田 友花	渋谷 充子	佐藤ありす	太田 博文	久松 梨奈	松葉 俊宏	對馬 隆元
学級書記	鈴木 将之 田中 育美	芦崎真理菜 島村 智子	長内 博 丹羽 彩香	塩見 恭平 高井麻里子	福岡 正博 山本 理恵	工藤 充 横内 亜弥	吉田 幸博 川村佳菜恵	遠藤 直也 村上 佑奈	宮本 梢那 吉村麻里衣
	学級会計								

総務	会長	藤島 直哉(2 C)	副会長	寺内 真(2 B) 多田 莉彩(2 A)	書記	石川 洋平(2 B) 大塚 真衣(2 A)	会計	伊藤 祐樹(1 C) 渡邊 結衣(1 B)
----	----	------------	-----	-------------------------	----	--------------------------	----	--------------------------



経験をいかして



三年A組 担任 山口哲也

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんと過ごした一年間は、とても有意義なものでした。たくさんの思い出や活動を与えてくれたことに感謝します。また、学校行事や中体連などで活躍する姿を見て、私自身も多くの事を学びました。今後にいかしていきたいと思います。みなさんも、中学校生活で多くの事を学んだと思います。この三年間で心身共に大きく成長し、学校行事や中体連では、勝利に向かって一生懸命に頑張りました。自分の目標を達成した人や、くやしい思いをした人など、一人一人に違った思いがわざわざあります。あるスポーツ選手が、「勝てば自信になり負ければ経験になる」ということを言つていました。私自身もそう思います。集中して取り組み、一生懸命に頑張った事は、けつして無駄にはならないと思います。すぐに結果がでなくても、将来必ず役に立つと思うので、苦しい事や辛い事があつても、くじけることなく前向きに頑張ってほしいと思います。卒業後は、年齢が増すに従つて、社会に対する責任も重くなつていきます。善悪の判断をしつかりと行い、間違つた事をしたら反省し、将来的自分をしつかりと見すえて生活していく事も、大切だと思います。

二十一世紀、最初の卒業生です。新しい時代を元気よく、悔いのないよう前進して下さい。くれぐれもからだに気をつけて、みなさんの頑張りと活躍に期待しています。

感謝を込めて。

三年B組 担任 輪 島 陽 子



三年間、一四六一日。そんなに時間が過ぎていたと思うと、不思議な気分です。私も、皆さんと一緒に五稜中へ来ました。教師として初めての中学校生活を、皆さんと一緒にスタートしたのです。

一年目は、ただ夢中で、わけもわからないまま毎日がすぎました。教師になれたという事実、皆さんとの出会い、目新しい学校行事。自分の中学校時代を懐しく思い出しながら、楽しいばかりの毎日を送っていました。そして二年目。去年のままではだめだ、と痛感させられた一年でした。何かしたいのに、何をしていいのかわからず、皆を怒ったり、皆に怒られたり。泣いたり、泣かれたり。くやしい思いもしました。その中で、皆からたくさんことを教えられました。あの一年がなければ、今年はなかつたと自覚しています。

三年目。改めて皆さんを見ると、背がのびていきました。以前の写真を見ると顔つきが全くちがい、話してみると考え方が深くなっています。いつのまにか、毎日の生活態度に落ち着きが増しています。自分が楽しむだけでなく、誰かをえたり、誰かに感動を与えていた。そんな力も身につけていました。「人は変わる 成長する」ということを、皆さんに身をもって証明してくれました。

これから、中学校時代のことがちっぽけに思えるほどの、様々な出来事があるでしょう。けれど、上手いく時もいかない時も、忙しい時も退屈な時も、なりたい自分を見失うことなく生活して下さい。今よりも、もっと強く、もつと優しい人に成長していくことを期待しています。卒業、おめでとう。

『最後の苦言』

三年生全員の担任 桑野健一



中学校3年間、君達と一緒に過ごしてきましたが、いよいよ明日思い出深い母校を旅立つことになります。函館市立五稜中学校第38回生となります。私は3年C組の担任ですが、1年生の時から常日頃言っている通り、3年生全員の担任だと思つて君達とかかわってきました。101名の卒業生の3/4の生徒を担任しました。1年生の時から、口を酸っぱくしながら何度もいや、何十回も君達に訴えてきたことを『最後の苦言』と呈して、卒業する君達へのはなむけの言葉とします!!『7カ条の御誓文』

- 1、高校生になつても、社会人になつても、『いじめ』は、決してはならない、許すことのできない最低の行為です。
- 2、何でも一番を目ざすこと。一つでも他人より勝るものがあれば自分自身の誇りとなり、自信がつき心に『ゆとり』ができます。
- 3、【挨拶は力なり】元気のよい、気持ちのこもった挨拶・返事をすれば、お互いに良い心分になれます。可愛がられます。
- 4、【時間厳守】時間にルーズな人は嫌われ、信用がなくなります。
- 5、善いことはどんどん行き、悪いことは絶対にしないという意志の強さをもつて欲しい!正義感あふれる人間に育つて欲しい!
- 6、『うそ』は、つかないこと。そのうちに必ずバレます。うそをつくとそのつくるののために、また次々とうそが重なり恥の上塗りとなり、取り返しのつかない程の大事件へと発展します。
- 7、『人間、体が資本。健康第一。常に元気であれ。再会を期す』

新しい発見を求める続けて：



三年 副担任 笹 谷 巍

卒業される皆さんへ



養護教諭 森 豊子

「大陸移動説」を唱えた、ドイツの「ウェゲナー」は、若いころ最初にグリーンランド北東部の調査にでかけ、北緯77度のビスマルク岬に基地を設営し、この地域の地図をつくり、動植物、地質、氷河、気象などの調査を長い間続ける中で、陸地の冰山が分裂し離れていく光景を何度も見てこの理論を発想できたといわれています。

みんなの人生の中でも早い時期に何か、自分の好きなことを見つけ出し粘り強く継続していくことができるよう強く希望します。そのことから必ず何か新しい発見ができると同時に、次の生きるエネルギーを与えてくれるものと確信するからです。活躍を期待します。

発想力は柔らかい頭から



三年 副担任 伊 勢 健

出 発



一年B組 担任 田 中 篤子

発想が豊かでユニークであるために必要なのは、みんなと同じように物事をしないことです。みんなと同じことが自分の頭にインプットされれば、発想もひらめきもみんなと同じようになるのが当然。だから、勉強はただ教科書を読んで理解するだけではだめなのです。いろいろなことに好奇心を持ち、いろいろな印象を受けることが大切です。いろいろな人と話したり、本を読んだりして、発見の種を蓄えておくことが大切です。すばらしい発想や大きな発見は、ちがう分野・方法をうまく合わせてできることが多く、そのためには頭をできるだけ柔軟な状態にしておかなければなりません。

すばらしいスタートを



一年A組 担任 渡 辺 淳

卒業おめでとう。この一年間皆さんと楽しく授業することができます。まだまだ一緒に勉強したい気持ちです。「卒業」は「終り」ではありません。「スタート」です。三年間学んだことを基に、すばらしいスタートを切つて下さい。立派に成長した皆さんとの再会を楽しみにしています。この三年間で、身も心も成長した皆さん！さらに大きく羽ばたいて下さい。絶えず前向きに、希望と勇気をもって正しさを求め、それぞれが新しい航路を開拓していくことを期待します。

ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは、三年間のおつきあいででしたが、保健室を通してたくさんの人と関わりを持つことができました。いつも若さのエネルギー（パワー）をいっぱい頂き、そして楽しい思い出をありがとうございます。

二十一世紀は、皆さんのが活躍する時代です。これからも友だちを大切に、また自分も大切に、温かい思いやりの気持ちを忘れずに、自分の目標に向ってつき進んでいくください。いつの日かどこかで出あつたときには、笑顔で語りあいたいものですね。大きく成長したみなさんに会える日を楽しみにしています。お元気で！

たくましい精神力

一年C組 担任 笹原五郎



三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。
今迄の温室生活から厳しい社会の中での人生が
はじまります。決して全てがバラ色の人生ではありません。
苦しい事の方が多いと思います。どうか強く、たくましい精神力
で困難を克服してください。

自分に問うこと

一年 副担任 鶴宗三郎

事をするにあたっては、すぐ手をつけなければ
ならぬ時もある。しかし、先ずは自分にしっかりと
問う習慣をつけて欲しい。

卒業生へ

一年 副担任 大宅剛

卒業おめでとう。「人生はリハーサルのない、ド
ラマといわれています」リハーサルができる人生
は誰にもないので。だから大切にして欲しいのです。失敗も、後
悔もあります。でも臆病になつてはいけません。失敗や後悔のない
人生は、また誰にもないので。自分の人生というステージで堂々
と演じることのできる主人公になつてください。

才能も長い努力の賜物

一年A組 担任 佐藤雅博

二十世紀最後の年に、自分の可能性を試すため
に多くのプロ野球選手が大リーグに移籍しました。
た。天才は極稀で、彼らの才能も長い努力の賜物。みんなも自分を鍛
え、磨き、埋もれている才能を開花させ、自分の人生を力強く生きる。

卒業おめでとう

一年B組 担任 大山裕香



皆さんとは、家庭科の授業で、ともにすごした
思い出が強いです。調理実習でつくった焼きこみ
御飯、仕上がりは様々でしたが、みんな元気一杯でつくっていました
ね。卒業後も何事も楽しむ心意気でとりくんで下さい。

早く、登りたい山を

一年C組 担任 越田喜忠

「よじ登ることのない者は、決して落ちない」と
はペイウッドの一文である。登山には、さまざま
な危険がつきまと。命さえ落しかねない。それでも山好きな者は
山へ登る。君達は若い。早期に、魅力のある、向上心に燃え果敢に
よじ登る山（目標）を見つけてほしい。

卒業おめでとう

一年 副担任 阿部眞美

御卒業おめでとうございます。みなさんとは、
委員会活動などで接つて来ましたが、一生懸命
活動する姿が印象に残っています。
これからも何事にも真剣に取り組み、五稜中学校で学んだ「誠実、
協調・真理・探求」の精神を發揮し、生活することを望みます。

充実した人生を

一年 副担任 菊地康幸

卒業おめでとう。皆さんとは一・二年の二年間
のおつきあいでした。三年生に行きたかったので
すが残念です。「自分の人生」ですから、判断して進む道を決めるの
は自分で。他人のせいにしないで充実した人生を歩んでください。

信は力なり



一年

期限付教諭

小林巧平

自分の可能性を感じること、それは己の信念となる。家族・友人など自分をとりまく様々な人を大切にし、お互いに信じ合える厚い信頼関係を築くこと。人との関わりは責任を生み、その責任は人の為、自分の為に行動を起こす勇気を生み、生きる力となる。冷やかに疑うことよりも熱く一生懸命信じることの方が大きなエネルギーとなることを忘れずに。健闘を祈る。

大きいなる成長を期待して

非常勤講師 今井正夫

卒業おめでとう。楽しくもあり、つらくもあつた三年間だったと思います。これからも今まで以上につらい場面に出会うこともあります。でも自分で選び歩み出した道から逃げださず、全力投球で立ち向ってください。健闘を祈る。

君ができる限り

事務職員 相原郁夫

君ができるすべての善を行え、君ができるすべての手段で、君ができるすべての方法で、君ができるすべての場所で、君ができるすべての時に、君ができるすべての人には、君ができる限り。これはイギリスの神学者ジョン・ウエズリーの言葉です。この言葉から何かをつかみ取つて下さい。

大活躍をして下さい



事務職員 横山栄子

ご卒業おめでとうございます。何事も、他力本願ではなく、自力本願で、樂しくおおらかに、パワフルに。失敗は次の成功へのステップとなります。皆さんの大活躍を期待しています。

力強い人生を

用務員 高野雄二

ご卒業おめでとうございます。五稜中で学んだ事を糧にこれから的人生を力強く歩んで下さい。お元気で。

流行

用務員 山口秀夫

「何々、ダシイー」「何々、ティウカア」良く身近で耳にする若い人の会話、又良く街の中で、厚い靴で、ツルツル路面を歩けない女の子、歩けないなら低い靴で歩け馬鹿。こんな事書いたら、口返すのだろうか? チョームカツクつて。

希望

給食稻垣良子

ご卒業おめでとうございます。

何事にも、努力をおしまず、希望と勇気を

持つて、一歩、一歩前進して下さい

先輩、ありがとう

二年A組 口百子

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

この五稜中学校に入学してから一年半がたち、もうあと数ヶ月で

二年が過ぎようとしている今、三年生のみなさんが残してくれた感

動や興奮が浮かんでは消えていき喜びとさみしさでいっぱいです。

特にお世話になつたテニス部の先輩がたとの本当にたくさんと思

い出が頭の中を交差して言葉に表せない何かへとふくらんでいます。

その思い出の中で一番印象深く残つているのは初めて先輩とかわ

したあいさつです。先輩とうまくやつていけるんだろうかと不安に

思つてた頃、先輩の「こんにちは」という言葉と笑顔が私の不安

を消しさつてくれました。何より先輩から声をかけてくれたことが

嬉しかつたのです。それからも先輩は部活以外でも会う度に明るく

声をかけてくれました。今も変わらず接してくれる先輩の優しさが

新しい部活の中で不安になつてた私の心を元気づけてくれまし

た。優しいだけではなく体育祭や中体連、新人戦、そして普段の生

活の中のあらゆる場面でみせるたゞしさや大人の考えに大きな感

動を覚え、多くのことを学び、「自分もそんな先輩になりたい」と思

いました。そして今の自分は大きく成長することができたと思いま

す。それはこのすばらしい先輩と出会うことができたからです。一

年が過ぎた来年、一年生が「この先輩と出会えてよかったです」と思え

るように先輩の残してくれた感動を引きついでいきたいです。

これからもその笑顔と優しい心を忘れずに自分の夢に向かつて歩

き続けて下さい。——先輩、ありがとうございます——

楽しかった一年間

一年B組 高橋綾花

卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

月日が流れるのは、本当に早くて、先輩達に出会つてから、もう

一年がたとうとしています。

春、私達は、五稜中学校に入ったばかりで、学校の事をあまりわ

からなくて、不安がありました。これからどんな事があるんだろう。

どんな先輩がいるんだろう。でも、その不安を消し去つてくれたの

は、先輩達でした。廊下で会つた時は、明るく元気なあいさつをし

てくれて、気軽に話しかけてきました。専門委員会の方では

私達や、学校の事を一生懸命考えて、より良いものとなる様にがん

ばつてくれました。私の所属していた吹奏樂部では、明るくて、面白くて、やさしくて、とてもいい先輩ばかりで、すごく楽しくて

笑ついた思い出ばかりです。ある先輩からのメッセージでは、笑

い死にしないでね。と書かれてしまう程でした。他にも、体育祭で、

走る前に「ガンバレ」と、応援してくれた先輩や、文化祭の発表前、

緊張していた私に、励ましの声をかけてくれた先輩もいました。

そんな先輩達が卒業してしまい、いなくなつてしまふのは、私達

にとって、とてもさみしい事ですが、五稜中学校で過ごした三年間

の思い出を、みんなで一緒になつて、喜んだり、悲しんだりした氣

持ちを風化させずに、いつまでも忘れないで下さい。そして、これ

から訪れる、数々の困難を乗り越えていって下さい。

本当に、御卒業おめでとうございます。

自分で決める

三年C組 佐々木 敦

あなたたちが今しなければいけない一番大切なことは勉強ではありません。自分が何に向いているのか、自分のやりたいことは何なのか、ということを見つけることです。自分のやりたいことは、案外、簡単に見つかります。しかし、それが自分に向いていいるとは限りません。やってみると意外にすぐあきてしまうかもしれません。でも、それでいいと思います。「失敗は成功のもと」というように、そのくり返しが大切なのです。

人生というものは、決して思い通りにはいきません。必ずどこかで挫折します。その挫折でおちこぼれたり、あきらめてしまうのだったら、それは本当に自分のやりたいことではなかつたのです。自分の決めた目標なら、自分の決めた夢なら、一度や二度の挫折であきらめることは絶対にできないでしょう。何度挫折しても決してあきらめない、自分の人生をかける、それぐらいの心意気がないとかなえません。

人生は、自分の決めた目標に向かつてがんばっている時が一番楽しいものです。いつか夢をかなえてやるという気持ちがあるから、がんばれば必ずできると信じているから、辛いことも、苦しいことも、楽しくできるのです。

「がんばれば必ずできる。」あきらめないでやつてみてください。

中学校での三年間

三年A組 山口美鈴

この五稜中での三年間は、長かったようでとても短かい時間でした。その間でも三年生は、修学旅行などの大きな行事があつたせいか、とても短く感じました。

中学校に入学する前の春休みは、まだ三年間も勉強しなくちゃならないのか、と思つていましたけれど、中学校に入学して、一日、一日過ごしてみると、一週間、一ヶ月、一年があつという間に過ぎていきました。

中学校生活の三年間を振り返つてみると、辛かったこと、悲しかったことよりも、うれしかったこと、楽しかったことのほうがたくさん思い出にあります。文化祭、宿泊研修、修学旅行などの行事だけではなく、休み時間、放課後なども、楽しい思い出になりました。

中学校の三年間がすべて思い出になることはないでしょう。時が経つと、印象が薄いものは、大人になってから、記憶に残っていないと思います。ですから、楽しい思い出をどんどん作つて記憶に残してほしいと思います。

在校生のみなさん、卒業までまだ時間がある、と思わないで下さい。中学校生活の三年間はとても短いのです。ですから、中学校生活を楽しんで、一つでも多くの思い出を作つて、これから自分の人生の大切な思い出の一つにしてほしいと思います。

～卒業生より～

在校生へ贈る

部活動

一年間の活動記録



三年間の経験

野 球 部 小 林 俊 之

新人戦、赤中に一回戦負け、中体連北中に二回戦負け、良い結果ではないが決して悪い結果ではない。

なぜなら、新人戦は雨の中、試合時間四時間以上の激戦。中体連は一点勝負の緊迫した試合。いずれも競った試合で、勝つた相手の中学校はベスト4に楽々入ったのだから。

五稜中も優勝できる力があつただけに非常に悔しい思いをしました。中体連前などは、ボールが見えなくなまるまで練習し、終わつた後も自主的にヘッドスライディングの練習を血

をだしてまでもやり、家に帰つた後も筋トレ・すぶりなど当たり前のようにやつっていました。それでも勝てなかつたのだから、相手の中学校はもつと努力をしたのだと思いたいです。

この三年間の経験は決して無駄ではなかつたと思います。いつか必ず役立つ日が来ると思います。中体連に応援に来てくれた生徒や父母のみなさん、先生方、野球部の物を色々と直してくれた用務員さん、中体連前に練習を指導してくださつた方々、転勤された後藤先生、副顧問の渡辺先生、そして三年間問題ばかり起こし、かなり迷惑をかけてしまつた山口先生、本当にありがとうございました。



延長・PK2対4

サッカー部 上遠野 良平

卓球部 高松 広大

一年半の部活動を終えて。



昨年の中体連が終わってからキャブテンになりました。なる前は自分のことを優先して考えてきたのに、なつてからは部員のみんなにあわせるということが必要になりました。最初はみんなにあわせたり気をつかつたりとたいへんでしたが、春季大会ころからなれました。そしてみんなも自分に協力してくれるようになります。そして、中体連までの期間、みんなで必死になつて練習をしました。みんなで練習するのはすごく楽しくていつまでもやっていたかったです。しかし中体連で一回戦シード、二回戦、光成中との試合で前半1-0でリードし、後半1対1と追いつかれ、延長前も1対1。そして延長後半も1-1。ついにPK戦となり、2対4で負けました。くやしくくやしくてどうしようもないくらいくやしくなつたです。二年生にはその時くやしさをばねに中体連だけではなくほかの大会も勝ち進んでほしいと思います。今までご指導してくださった佐藤先生ありがとうございます。高校に行つたら何も気にせず思いつきりサッカーができるので楽しみで、仕方がありません。一生サッカーを続けたいと思っています。

くやしさをばねに中体連だけではなくほかの大会も勝ち進んでほしいと思います。今までご指導してくださった佐藤先生ありがとうございます。高校に行つたら何も気に気にせず思いつきりサッカーができるので楽しみで、仕方がありません。一生サッカーを続けたいと思っています。

顧問の輪島先生は、僕達と同じ年にこの五稜中にきました。あまりたよりがないがあるわけではありませんが、一生懸命卓球部のために練習試合などを組んで卓球部のために頑張ってくれました。

最後に今まで指導してくれた先生方、大妻高校の笹浪先生、去年引退した先輩方、五稜中学校卓球部のために指導してくれたたくさんの人達、本当にありがとうございました。



僕達卓球部は、二年半という短い期間の中、一生懸命部活に取り組みました。その二年半は、たくさんの人達に支えられながら頑張つてきました。その中でも、感謝しなければいけないのは一年上の先輩達です。僕達が入った時の卓球部は、卓球を教える先生がいません、今、僕達がここまで強くなつたのは先輩達のおかげだと思います。先輩達がぬけたあとも、五稜中の卓球部が注目されたことは、とても幸せに思います。その他にもよく卓球ショップに行き、他の中学校の人や時には高校生と卓球をしたり、大妻高校で練習させてもらつたり、僕達はどんどん自分達の実力を高めていき、満足できました。

僕達卓球部は、二年半という短い期間の中、一生懸命部活に取り組みました。その二年半は、たくさんの人達に支えられながら頑張つてきました。その中でも、感謝しなければいけないのは一年上の先輩達です。僕達が入った時の卓球部は、卓球を教える先生がいません、今、僕達がここまで強くなつたのは先輩達のおかげだと思います。先輩達がぬけたあとも、五稜中の卓球部が注目されたことは、とても幸せに思います。その他にもよく卓球ショップに行き、他の中学校の人や時には高校生と卓球をしたり、大妻高校で練習させてもらつたり、僕達はどんどん自分達の実力を高めていき、満足できました。

チームワーク

男子バスケット部 下川 悠太



ぼく達男子バスケット部は、先輩たちが引退した後ガクツと平均身長が落ち、とても背のひくいチームになってしまいまして。試合でもあまりリバウンドがとれず、いつも負けてばかりでした。しかし、ここまでがんばれたのは、すばらしい仲間たちがいて、なによりチームワークがよかつたからだと思います。男子バスケット部はあまり上下関係が厳しくなく、ただバスケットが好きな奴が集まつて、楽しく楽しめた。このとき息が合い、いいプレーができたのは、日ごろからの仲のよさ、一緒になって悲しんだり喜んだりできたからだと思います。これがこそが、ぼく達の最大の武器で自慢できるものだと思います。

これからも、後輩達にはもっと練習して、どんどん勝ち進んでいく嬉しいです。

そして、三年間熱心に指導して下さった鶴先生、短い間でたくさんのことを教えて下さった佐野校長先生、バスケットの基本を教えて下さった伊藤先生、本当にありがとうございました。

「三年間の思い出」

女子バスケット部 斎藤 美絵



私は、三年間バスケットをしてきてほんとうによかったと思います。バスケットだけがわかる、くやしかった思い出や樂しかった思い出がたくさんできて、三年間ほんとうに充実した思い出ができたと思います。

「中体連」というほんとうに最後の試合にむけて毎日、毎日つらつきびしい練習をしてきたのに、一回戦負けという結果になってしまった。ほんとうにくやしくて涙がとまりませんでした。三年間の思い出がいつきに消えてしまったように頭の中が真っ白になりました。でも、みんな一生懸命力を出しきった結果だったので、それも一つの思い出としてみんなの心に残ると思います。後輩には、こんな思いをしてもらいたくないのでこれからもっともっと練習をして、優勝という目標にむかってがんばつてほしいと思います。

鶴先生には今までいろんなことを教えてもらい、すごく感謝の気持ちでいっぱいです。おこったときはほんとうにこわくてびしかつたけど、笑って一緒に話しているときはすごく樂しかったです。今までほんとうにほんとうにありがとうございました。

バレーボール部 佐藤有香

中体連で、3年生の先輩が引退してからこの1年間は、バレーボール部にとつて、いろいろなことがありました。

3年生は、私達4人しかいなかつたため、最初は2年生をどうリードしていくかわかりませんでした。ですが、練習や試合を重ねていくごとに2、3年生の仲も良くなつていきました。

4月になって、浦野先生が他の学校へ移ることになり、バレーボール部を中体連で廃部することになりました。チームはバラバラになつたり、充実した練習が出来ていませんでした。渡辺先生とコーチの小林先生が来てくれました。渡辺先生はバレーボールのことは全然知らないのに、一生懸命中体連まで私達を指導してくれました。

小林先生は、昨年八月、亡くなりましたが、いつも私達の事を考え、指導してくれました。

最後に、本当に、浦野先生、渡辺先生、ありがとうございました。

また、お世話をなつた小林先生のご冥福を心よりお祈りします。

そして、後輩の皆さん、また次の部活でも、バレーで学んだことを忘れずにがんばって下さい！

感謝★感激

テニス部 村田友花

約三年間続けてきたテニス。楽しかった事、辛かつた事、今考えると全てが良い思い出です。



テニスを始めた頃は、球拾いがメイク。素振りをしてもなれない姿勢

だつたため、家に帰つて座つても立てない位の疲労だつたのに、一度も「辞めたい。休みたい。」と思つたことはなかつたです。なぜなら、いつもテニス部は先輩後輩が平等で、楽しかつたし笑いのたえない部活でした。そんなすばらしい環境で共に練習した私達は、たくさんの学校と練習試合をしてきました。一、二年生は三年生の試合を見て、いつも大きな声で応援してくれました。ミスをしても励ましてくれて、とても心強かったです。

中体連では、当番校の仕事も選手宣誓もやりとげ、みごとに団体戦の予選リーグ一位で突破。決勝戦では、クジ運が悪く優勝候補の学校と戦い惜しくも負けてしましましたが、私達の先輩方が目標としていた団体戦三位とBEST16入賞を果たすことができました。

最後に、いつも楽しく時には厳しく指導し見守つて下さった菊地先生、一二年生、本当に「ありがとうございました。」感謝しています。

新パソコンとコン部とその後



お気付きのとおり今年、新しいパソコンが入りました。気持ちも新たに2学期から開始しましたし、それによつてもたらされた利益も多いでしょう。1、2年はまだですが、3年生は授業にも取り入れられていますし、でもそれによつて旧パソコンのゲーム関係のソフトがすべて使えなくなつたことで部員はつらいです。以前活動の大半をしめていたものが使えなくなつてしまつたのだから。しかし、新パソコン入荷によつてやる気が出でてきたのもまた事実。さらに今までないゲームもできていることも。パソコンは今後、今よりさらに必要になつてくると思う。そんなことでパソコンが新しくなつたのはよいことだつたのだろう。見るかぎり活気も出でていて、さまざま面でみても、新しいパソコンの到着は自分達、コンピュータ部にとっていいことなのは前に述べた通りである。今後については新しいパソコンとどんな運命がまちうけているかわからぬが、古いパソコンの両者を使い分けながら、ゲームセンターなどといわれないような活動を続けていきたい。

コンピュータ部 久米 賢

後輩のみんな！期待してあるからね！

吹奏楽部 井口由紀乃

私は例年なく、厳しい部長でした。細かい事でも注意すると言つてしまえぼうるさい部長だったのかもしれません。しかし、数人でひとつつの音楽をつくるような吹奏楽では、どれだけチームワークが良くても一人一人がしっかりとしていかなければ成り立ちません。だから私はいつも部員一人一人の細かい事まで厳しく注意していました。

しかし、練習の成果があらわれるはずのコンクール：今年もまた、銀賞をとつてしましました。本当にくやしくてたまりませんでした。でもいくらくやしがつても銀は銀です。三年間銀賞をとつた私には、まだ金賞をとるチャンスがある後輩達がうらやましいです。今年、私達がとつた銀賞というのは、單に審査員との音樂の好みのちがいだけから生じた結果ではありません。私達には、「みんなでがんばろう」という協力することが足りなかつたよう思えます。そんな反省点をいかし、来年のコンクールでは、きいてい人のみんなを感動させる演奏をして下さい。

最後に、三年間お世話になつた桑野先生、本当にありがとうございました。そして来年、私の後輩達と一緒に金賞とつて下さいね！



「創造の楽しさがわかる美術部」



美術部 熊谷 宇見



今年の美術部は部員が3年生しかいなかつたのですが、少ない部活の時間の中で、様々な活動をすることが出来ました。最初に作つたのはオカリナで、みんな楽しみながら色付けをしました。一人一人の個性ある作品に仕上がり、また、演奏することも出来るのでとても良い作品を作つたと思います。

文化祭時期には、ハンカチに絵を描くこと、彫金を刻ることを予定とし活動しました。

ハンカチに絵を描くのは、まず画用紙に下書きをし、その上に無地の白いハンカチをのせ、洗つても落ちない絵の具で色を付けます。みんな、チョウチョの絵、金魚の絵、自分の好きなアーティストの絵など、自分が使つてみたいなど思えるようなハンカチに仕上がり良かつたと思います。また彫金の方は時間が間に合わず完成しませんでしたが、技術を身に付けることが出来たので良い経験になつたと思います。

このように、色々な活動を行うことが出来たのも親身に御指導して下さった越田先生のお陰です。本当に有難うございました。

“出来た”時の“喜び”、“嬉しさ”

家庭部 房田 麻美



私は、この三年間ずっと家庭部で活動していました。何故なら、“出来た”時の、喜びや、嬉しさがあつたからです。この気持ちは、他の部活でももちろんあると思いますが、部活によつてその思いの方は多少異なつてくるものだと思います。

家庭部は、顧問の大山先生の都合等があり、なかなか活動する機会がありませんでした。でも、そんな中、大山先生は忙しい中、調理実習を計画して下さいました。それは、“クレープ”作りでした。計画の中で、部員の人達、もちろん私も期待で胸がいっぱいでした。作った当日は、時間を忘れ熱心に、そしてわくわくし、一生懸命作りました。途中、材料が無くなつてしまい、スリバーへ行くハブニングもありましたが、それもまた楽しく良い思い出だと思います。部員の人達は、皆、良い人ばかりで気軽に話したりと、すごく楽しく、そして、誰もが助け合い取り組む事の大変さを学びました。同時に、一生懸命やつて出来た時の“喜び”や“嬉しさ”も実感しました。そんな嬉しい気持ちでいっぱいの部員を見ていると、見てるだけで自分まで嬉しくなつてきます。私はそんな家庭部が大好きです。そんな体験を、ぜひ体験してみて頂きたいです。最後に、色々な面でお世話して下さった部員の皆さん、そして大山先生、本当に有り難うございました。

求む、部員!! 新設書道部

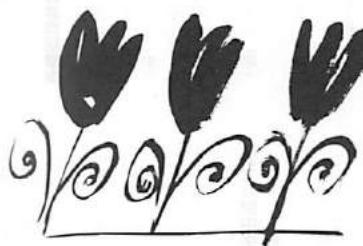
書道部 佐々木 ひかる

我書道部の顧問は阿部先生です。阿部先生は、「先生の書の作品はそんなに美しくないけど、書いた先生はすてきだ」と前に話していましたが、眞実はいかに!!

書道部は、部員三人。ちょっと寂しい活動でした。最初は「一人だけだったのですが、途中から一人加わりました。「もう一人、部員が増えよ」と先生がおっしゃった時は、少しうれしかったです。

また活動もあまりなかったのも寂しさが増す原因となりました。あまり活動できなかつたのは、先生の都合（委員会活動等と活動日とぶつかってしまう）や学校行事と重つてしまふのです。そんな具合ですが、表立つて活動したのは文化祭でした。三人共同で一つの作品に取り組んだり、てん刻に初めて挑戦しました。思いつ切り（？）活動できました。最初の予定では級も取得するはずだつたし、公募展にも応募するはずでした。これらも出品する機会があるので計画を少しずつうめるつもりでいます。

三人しか部員がない、活動も少ない書道部。なんとか廢部にならない程度に頑張りたいと思います。字を思いつくり書きたい人、年賀状の練習をしたい人、毛筆が好きな人、誰でも入部して下さい。



平成12年度 卒業生

思い出すをこのページに残して



終わらない夢に

傷付いたり 涙を流したり 時にはくじけたり

負けそうな時 気付けばささえてくれてる それが友情
これからは選んだ人生を それぞれに歩き出しけど

遠く離れても 幸運しても 心は一緒さ

いつか又逢う日は とじきりのあの笑顔で

輝いて欲しいよ 終わらない夢に

何事でも泣いたっていいさ 転んでも起きればいいさ

どこかのままで きっとあいつも くいしばってるはず

何年先だって 変わらないその瞳と

語り明かしたいよ 友達だから

(前田 亘輝
による)



篠谷 崇先生	伊藤 理恵
須佐三菜子	瀬戸真由美
大友 裕子	山口 美鈴
今野あさみ	高橋 弓子
鶴見 清香	竹内あゆみ
庄司 綾香	吉田 恵未
篠谷 雪絵	田中 美子
井口由紀乃	土橋 愛美
傳福 佳貴	小島ひとみ
渋川 悅平	田中 育美
鎌田 大輔	小川奈実江
西川 潤	山口哲也先生
吉村 裕愛	山本教頭先生
飛山 雄也	森 弘太
小林 俊之	下川 悠太
鈴木 将之	岡川 大晃
高橋 昌大	中山 竜次
石井 秀平	石井 秀平

3A

今年を振りかえつて…

山口級

2000年の山口級は、良い所をさがすのは、ちょっと難しいクラスです。まあ、あえていうのなら、明るいというか、何というか元気なところです。少し騒がしいと思うかもしれません、それは、A組のイイところとしておいて下さい。

あともう1つ。体育大会で一位をとりました。800m走では、1・2・3位を連続でとり、タイヤリレーはなんと逆転しました。なにせ、うちの担任は、体育の山口先生なので、よけい頑張った様な気がします。では、せっかくなので、我らの担任、山口先生のことを。先生は、皆さんも知っている様に「ベジ」と呼ばれ、親しまれています。やはり、体育教師なので、ちょっとびりマッチョですが、最近脂肪に変わっている様です。けど、一度胸筋を動かしてくれました。うけないギャグも得意の様です。しかし、この様なおもしろい先生がいて、この3Aがあつたのだと思います。

中学校生活3年間、長いようで短かつたです。私はこの中学校生活を胸に、それぞれの道を歩んでいきます。(篠谷 雪絵記)

卒業生一人一言 3-A編

また、いつか……

一年中そうじだった

またあう日まで……

二学期いっぱい掃除です。

柳

Easyだな

おまえはもう死んでいるbyケン

安藤さんバ、バキー

さよおなら

高校にいってもがんばる

「ビューティフル」

いいね、いいよ。ありがとう

今ははずす気がしねエ

いろいろあつた……

Never give up!

☆☆ギャルになります☆☆

何事もヤル気です！（美鈴に続く
ファンレターのあて先はこちら→
目標を持つて頑張ろう！超えろ杏

コンサが死んだら私も死ぬ（苦）

しんごママは料理ベタ
杏！地下道で活動中！

函館市立五稜中学校ありがとう！

上原浩治はでっぱですか？

眠い時に寝るのが一番。

野猿★フォーカダンスDE成子坂
「頑張れ、在校生よ！」

次会う日までバイチャー♡

ここではないどこかへと……☆

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

そんなおまえにスーサイド。

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

そんなおまえにスーサイド。

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

そんなおまえにスーサイド。

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

すべてはきっとこの手にある

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

オリーブ系になりたいちょ。869-63048689

石井	岡川	大見	秀平
大輔	鎌田	小林	俊之
渕平	下川	鈴木	高橋
悠太	鈴木	将之	傳福
将之	高橋	佳貴	飛山
昌大	高橋	雄也	中山
鶴見	西川	潤	竜次
清香	森	弘太	吉村
竹内あゆみ	行田	拓郎	裕愛
瀬戸真由美	吉田		理恵
須佐三菜子			伊藤
庄司綾香			磯西
高橋弓子			由紀乃
瀬戸真由美			大友裕子
須佐三菜子			小川枝里子
庄司綾香			小島ひとみ



今野あさみ	笹谷雪絵
竹内あゆみ	田中育美
山口美鈴	田中美子
鶴見清香	吉田怜未
土橋愛美	
須佐三菜子	
庄司綾香	



篠谷 先生	土遠野 良平
齊藤 恭介	高松 広大
野口 昌保	小島 侑也
仁木 稔平	横山 泰孝
太田 靖人	中谷 準
神 和彦	敦澤 佑太
下川原星矢	花田 健
杉山沙哉佳	島村 智子
竹内ひとみ	武田 真依
輪島 先生	掛端 泉
山本教頭先生	芦崎真理菜
近藤 由梨	金子香世子
森 ちひろ	下村 久美
水澤 佳子	小泉麻夕子
村田 友花	佐藤 愛
房田 麻美	福森 あい

3B

3ねえんBいくみい

輪島級

こんにちわ。まずはクラスの雰囲気について書きたいと思います。はじめて三年B組と決まった時は「金八」としか思いあたりませんでした。あんのじょう男子は教壇の上にあがり「3ねえんBいくみい」と叫んでいました。これは、にぎやかなクラスになりそうだという予想通りうるさい、いやにぎやかなクラスにどんどんなっていきました。ときには、「けじめをつける」と怒られることもあります。「けじめをつける」と怒られることが多いですが、そんなことは動じないB組のみんなはいつもどちらかといふと、まじめより楽しい授業を受けてきました。ここで我がB組の先生を紹介したいと思います。

輪島先生は男っ気がやや多めで、ゴスペラーズの大ファンです。ゴスペラーズが出るテレビはいろんな所から情報を得てそのテレビを見逃がさない程大ファンです。輪島先生イコール、ゴスペラーズと連想する人がほとんどです。そして、初めて三年の担任をしたということを忘れるくらいみんなをまとめがんばっていました。だから今、こうして明るく楽しいB組があると思います。私は校内のサイコーのクラスだと思います。

卒業生一人一言 3-B 編

ガングロ極める!!

高校に行つても頑張る。

がんばる。

月光の下、灯が消え影が甦る…

「愛情は勿体ぶるな!!」

無理をせず、マイペースでやる

経済を知り現在を生きる。

継続は力なり。

みなさん私は超大天才です。

ください。がんばって。

みんないつしょにがんばろう。

みんな高校に行つてもがんばって

今やることを明日にまわすなー

気合と根性!

☆(わ)かいかもしれないあなたは、

☆(じ)つはじやいあんとババ好きで

♥道産子は棒さんですわーー♥♥

(M.E, W.E)

☆(まい)にちゴスペラーズにキス♥

(W h y I m m e)

トムとジェリーは好きですか?

太田 靖人
上遠野良平
小芝 友博
小島 侑也
齊藤 恭介
下川原星矢
神 和彦
高松 広大
敦澤 佑太
中谷 準
仁木 稔平
野口 昌保
花田 健
横山 泰孝
芦崎真里菜
小野 直美
掛端 泉
金子香世子
熊谷 宇見
小泉麻夕子
近藤 由梨

我輩は猫である b y 夏目漱石
だだだだだだっこ
☆(よ)さこいマッチョと踊りたい
お姉ちゃんは宇宙人ん! んん…
双子の妹です。

ギター歴二日目 (十二月八日)

スーパーモデル歴: 三年目

FFとティルズは最高です。

☆(レ)れが私の担任でしたよ。

単純な眞実が傷をいやしてくれ

血を燃やす!!

佐藤 愛
島村 智子
下村 久美
杉本沙哉佳
杉山明日香
竹内ひとみ
武田 真依
福森 あい
房田 麻美
水澤 佳子
村田 友花
森 ちひろ





齊藤 純子	水上 結子
水野 紗理	太田 良美
水戸部有華	根本 雅美
三国 栄弥	佐藤 有香
渋谷 充子	林 真奈美
塙谷 桃子	山田 幸岐
赤石 瑞穂	上戸 晶子
丹羽 彩香	斎藤 美絵
木村 洋貴	桑野健一先生
高橋 正文	佐々木 敦
長内 博	渡辺 俊亮
竹内 亮人	泉 翔太
高崎 雄太	森 春希
田中 克明	井田 春希
高橋一二三	浅井 亮太
	森 祐寛
	山内 貴司

3C

終わらない三年C組

桑野級

今年、僕達三十四人は、三年C組に集結しました。初めの間は、慣れていないせいか、集団行動が苦手だった。しかし、徐々に、集団行動が上手になつていった。修学旅行に体育大会、文化祭といった学校行事を一致団結して、がんばつていった。体育大会は優勝とは、いかなかつたけど、合唱コンクールは、金賞という、輝かしい記録を残した。その記録は、誰か一人のおかげではなく、三十四人と桑野先生のおかげであると思う。

また、僕たち三十四人はこの一年間で、個性をのばしていくたと思う。ある者は運動をし、またある者は学問など、いろいろな物を桑野先生のもとでのばしていく。しかし、まだ、成長しきったわけではない。これからどう成長していくかは、一人一人の努力で決まります。つまり誰でもどんどん成長していく可能性があります。桑野先生、一年間、おつかれさまでした。そしてありがとうございました。これからも教師としての仕事をつづけていってください。また、この、三年C組としての一年間は、いつまでも心の中にあります。3年C組よ永遠に。

卒業生一人一言 3-C 編

桑野サンキュー、ハイビー

お前ら最高のケテヌメイトだ！

五稜中よ永遠にさらば元気でな！
ほくちやん、キムチ大好きー。

めつちや悔しい。
高校にいって夢を探す
大好きなバスケットで日本一になる
少しの時間を有効に!!

支那の
アーチ

元気があれば何でも出来る

LUNASEA解説しちゃうが

$$\ell = \frac{2\pi r}{\lambda}$$

五稜中のみんな元気で。

BEATLES LOVE

アシでも食いつかで!!

きくぞうラーメン

でんムシムシQ

すっぱマン☆☆☆

(ほ)おつほおつほおほおほお

浅井 泉 井田 長内 長内 佐々木 敦 春希 舞太 亮太
 高橋 一二三 高橋 正文 高崎 雄太 高崎 雄太 木村 洋貴 春希 舞太
 森 田中 竹内 亮人 竹内 亮人 太田 上戸 渡辺 赤石 晶子 瑞穂 俊亮 瑞穂 俊亮 斎藤 純子 良美 斎藤 純子 良美

また会う日まで

コツバチャツブス★2コの味

かににー

今まで仲良くしてくれてありがとうございました。TVの圖から今日印3Yアイ・ツチ

TVの国が今 日和田 一ノハラ、テ

◎一九六〇年

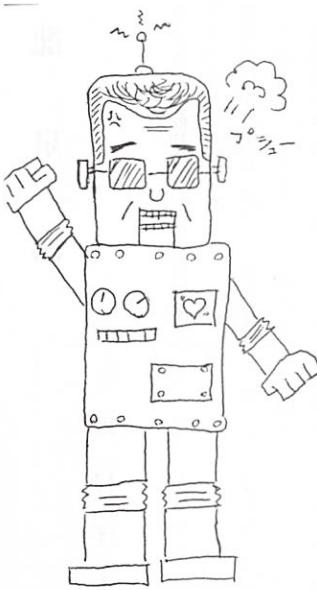
感謝你給我一個很美好的回憶

今日の大家は一味違うのよBY大家

わす大統領だよね～BY大統領

⑨ゴウゴ・ルーガー!!

今までありがとうございました。



山田 幸岐	水野 絵理	水戸 部有華	三国 栄弥	林 真奈美	根本 雅美	丹羽 彩香	中川 一恵	塚谷 桃子	渋谷 充子	佐藤 有香	佐藤恵美子
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

龍 泉 洞

三年C組 木村洋貴

修学旅行の最初の目的地は龍泉洞でした。ここは自分にとって一番よかつたところでした。

龍泉洞は中に入ると暗く、少し寒けがしました。まもなくすると水の音がきこえました。流れている水はとても冷たそうでした。足場はあまり安全ではなく、「おちたら死ぬな」とまで思いました。水をのぞきこんでいると後の人があおどかしてきます。

さらに奥にいくと階段がありました。その上ではこよりの鳴き声がするらしくみんな立ち止まっていました。自分もすみのほうをこうもりが一瞬横切ったのを見れました。

また上に登つっていくと今度は下りになり足場がぬれてすべりやすく、しかも道幅がなんと八センチしかないのです。頭上はときどきあたりそうになります。

そうこうしてるうちに出口につけました。

自分はこうよりも見れたのでとてもよかつたです。

修学旅行記



貴重な体験

三年A組 高橋弓子

体験学習は、自分の行きたいコースへ行き、体験学習ならではと
いうことを学ぶものでした。二日目にあつたので、初日の疲れもで
ていて、朝起きたのも辛かったので、「朝からバス乗るのかよ」と
いった気分でした。私のえらんだ牧場コースは、なかなか楽しいも
ので、大げさにいうと、疲れも忘れてしまう程でした。

牧場に着くと、すぐにトラックの荷物の置く所に乗り、草がいっ
ぱいのところへ行きました。そこでは、牛にあげるえさとしてたく
さんの草をトラックに積みました。カエルなどもいて、みんな楽し
そうでした。そして、またトラックに乗り牧場へ戻りました。

いよいよ次は牛に自分たちの取つてきた草をあげます。牛は、
目が輝いていて可愛らしかったです。草をあげようとすると、何頭
もの牛たちが集まつてきて、おいしそうに草を食べててくれてすご
くうれしかつたです。

普段、絶対に味わうことのできない楽しさやうれしさを学べて私
は、充実感でいっぱいでした。きっとみんなもそうだったと思います。
私たち三年生にとって、とても貴重な体験となりました。



「青春に合う場所」

三年C組 赤石瑞穂

「淨土ヶ浜」は見た目は山と海しかない極普通の浜でした。山と
いつても少し小さくて、緑の下には白色をした岩みたいなものです。
私が見た正直な第一印象は「何もないつまらない所。」

淨土ヶ浜は本当に何もなく、そのうえとても歩きにくいくのです。

石の上を歩くとすべて転んでしまうします。何もなく、歩き
にくい一方で、ここでできることは、写真を撮ることぐらいでした。

そこで友達とふざけて「淨土ヶ浜を背景に後ろ向きで撮ろうか。」
ということになりました。後に驚いてしまうことも知らないで…。

海の色はとても美しく印象的でした。修学旅行から帰ってきて何週間と
たつた時気づきました。それは先ほど

の友達と撮った写真です。それを見て思わず笑ってしまいました。その写真
には、「透き通る海」それに「古そな
山」とびつたり合う「後ろ向きの私達
の姿!」名を付けるならまさに「青春」。

ここで私の印象が「淨土ヶ浜は青春に
合う場所だ。」と変わりました。

今、私が手に持っているその一枚の
写真は、とてもない宝物になつてしま
いました。



中尊寺

三年B組 齊藤恭介



修学旅行3日目、僕たちは、ホテルを出発し、中尊寺に向かいました。バスで移動し、その後少し歩いて、ようやく中尊寺の境内に入りました。

入るとすぐに日本情緒あふれる空間が広がり、独特の雰囲気がありました。その雰囲気全てに歴史を感じました。

集合写真を取り、金色堂を見学しに行きました。まず入口の手前で説明を受け、金色堂に入りました。中に入ると、ガラスにおおわれた美しい仏像がありました。何年前に清衡が夢見た極楽浄土の世界が、黄金色の輝きを失うことなく生き続けていました。この輝きは、これからもずっと残していくべきだと思いました。

それからいろいろと周りました。高い所からの景色も見ました。

ただ、一番心残りなのは、ミイラを見られなかつたことです。あと、もつとゆっくりと見たかったです。今回は修学旅行という団体行動ということで、今度来たときは、ゆっくりじっくり見たいと思っています。今度僕が来る時まで、そのずっと先までも、この美しい歴史のあとを残していくてほしいとぼくは思っています。

初めての舟下り

三年A組 中山竜次



修学旅行で、ぼくは初めて舟下りを体験しました。舟下りをやると聞いた時は、何でそんなつまらないものをやるんだと思っていましたが、それは舟に乗るなど思っていましたが、考え方が少し変わりました。船頭さんの話を聞いたり、周りの景色を見ているだけでいつのまにか時間が過ぎ、目的の場所についていました。その場所では自由時間があり、みんな反対側の岸にある岩の穴に向かって石を投げていました。なぜならその場所に石が入ると良いことがあるからです（これは船頭さんがいっていたことで実際はどうなるかはわからない）。みんな石を投げているといつまにか自由時間はなくなっていて、また舟に乗り、来た道を戻っていました。帰り道、船頭さんが歌を歌つてくれたのでおかえしにみんなで校歌を歌いました。帰りは来た時よりよけい速く感じ、すぐに船着場についてしまった。船頭さんと別れ、ぼくの初めての舟下りはこれで終わりました。舟下りと聞いて今まで、そんなものどこがおもしろいんだ、と思っていましたが、それはただの思いすこしで、実際に乗つてみるとおもしろく、今回は良い体験ができたと思いました。

康樂館

旅行句

三年C組 高橋正文

三年B組 金子香世子



修学旅行四日目、僕達は新安比温泉をあとにし、岩手県を越え、秋田県の小坂康樂館へ向かった。
康樂館は、外観は結構きれいな感じがするけど、中に入つてみると古く、ところどころ修理されているような気がした。

劇が始まる前に舞台裏を見せてもらつた。大道具や小道具がしまつてあり、地下にはヘビも出る

そうだ。樂屋では、役者さんのサインが壁いっぱいに書いてあつた。劇が始まつた。舞台上には、ネコなんかも出てきて、とても面白

かつた。途中で、花道から人が出でたので、びっくりした。地下の仕掛けで動いているそうだ。劇の内容も面白かつた。役者さんが

たまに失敗することもあるけど、そこはうまくカバーしていた。劇の内容は定期に変わらしくけど、毎日来ているお客様もいるようだつた。劇が終わり、最後に生徒の一人だけに殺陣を教えていた。

舞台劇を見たのは始めてなので、何もかもに驚いたけど、康樂館に来て本当によかったです。なぜなら、とても面白い劇と、複雑な舞台裏を見れただけでなく、舞台劇の本当の面白さと役者さんや裏方さんの努力を舞台を通して知つたから。

夏過ぎて今、思い出すあの景色

郊屋、列車 真剣勝負の大富豪

ガイドさん 何故だかとも美人さん

「ねえ、寝てる?」「いや、起きてるよ」「ねれないね」

まか不思議 回せば出来てる天然バター

潮風と一緒に写った思い出シャシン

御利益があると信じる雪葉お守り(中尊寺)

川下り 目を奪われる渓谷美

遊園地 夏空高く、え響く

オレンジの光の下の〇〇話

最終日 夏雨にたたずむコウラクカン

「いつか、また」みんなと一緒にどこかに行こう。

宿泊研修



心に残る宿泊研修

二年A組 阿部 真由子

とても楽しみにしていた宿泊研修が九月十三日・十四日に大沼で行われました。

あいにく小雨混じりの天気でしたが、私達は持ち前のパワーで雨も気にせずボートオリエンテーリングが始まりました。

コースは二コースから五コースまであり、私は三コースで二回目のスタートです。ボートに乗るのは初めてで少し不安もありましたが、ライフケースをつけて三人でボートに乗り込みました。スタート地点から橋の所までは幅が狭くボートが混み合っていて、ボートが岸から離れ「さあ、出発だあ。」と思った瞬間、近くのボートとボートにはさまれて動けなくなってしましました。「どうしよう。」と言つてはいるが、ボートの係員の人が私達のボートを橋の近くまで引っぱってくれました。がんばって漕いでいる人達には悪かったのですが、皆の間をスイスイ通り抜けて先頭の方におどり出ました。でも、ここからは自力でがんばらなくてはなりません。私は友達と二人でナビゲーターをしました。四ヵ所の木の名前を探しチエックカードに記入します。遠くまで行つているボートもありましたが戻れなくなると困るので近くで探しました。コンバスの使い方がよくわからず適当に探したので、結局二つしか探せませんでした。途中、友達と声をかけ合いながら一時間以上の楽しい探検は一組の落後者もなく無事に終わり、とてもよい思い出が出来ました。

陶芸を体験してみて

二年B組 酒井達矢



今年度の宿泊研修の体験学習では、選べる4つのコースがあった。1つ目はウエスタンクラフトコース、2つ目はバター作りコース、3つ目は絵付け体験コース、4つ目が陶芸コースだった。どれもめったに体験できないものばかりだった。僕が選択したのは、一番お金のかかる陶芸コースにした。この陶芸は、いたってシンプルな作り方で適当な大きさのねんどを、ねって形を作っていくというものだ。例えば茶わんを作ったり、湯のみを作る人もいた。中には手の形を取っていた人もいた。この形を作ったねんどは焼くと少し小さくなりちゃんととつや出しもぬつてあるので結構、本格的な物に仕上がる。僕がこの陶芸というものをふれてみて、一番印象に残つたことは、自分の手で形を作り、焼いた物を実際に、普段の生活で使っていくことができるということだ。このことはずっと前の時代でいうと縄文、弥生時代だ。縄文、弥生人は土器を食料の保存や食料を煮たりするのに使つている。このことは現代にある、なべやフライパンにつながる重要なことだと学んだ。この体験は貴重なものだと感じた。

1つ目はウエスタンクラフトコース、2つ目はバター作りコース、3つ目は絵付け体験コース、4つ目が陶芸コースだった。どれもめったに体験できないものばかりだった。僕が選択したのは、一番お金のかかる陶芸コースにした。この陶芸は、いたってシンプルな作り方で適当な大きさのねんどを、ねって形を作っていくというものだ。例えば茶わんを作ったり、湯のみを作る人もいた。中には手の形を取っていた人もいた。この形を作ったねんどは焼くと少し小さくな

り、冒険旅行に出発するような気分だ。

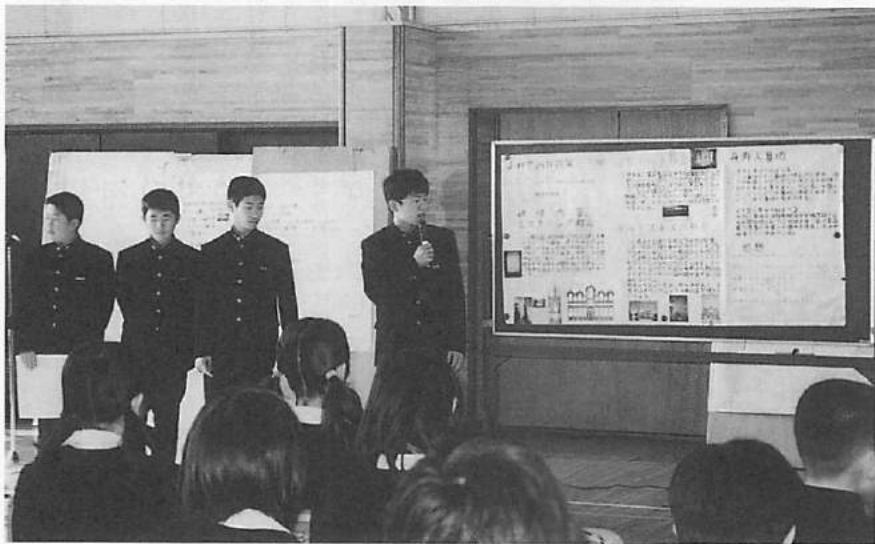
こんな気持ちになつてゐるのは僕だけではないはずだ。案のじよう、他の皆も大沼公園に向うバスの中から、もう既に、テンションが上がつていて。大沼公園での「ボートオリエンテーリング」では、ボート同士ぶつかり合つたり、近くの小島の岩にひつかけたり、スリルとちょっとした探検気分を体験できた。

宿泊先のグリーンビア大沼では、大勢で食べた夕食がうまかつた。特に、ビーフシチューは最高でこれが有名な大沼和牛なのかと思つたくらいだ。夜は、消灯時間が過ぎても、皆は眠らなかつた。結局、先生には悪いとは思ひながらも、十二時過まで起きていた。翌朝は、再び探検だ。親友の中尾君と二人乗りの自転車で、周辺の散歩コースを走りまわつた。昆布館に立ち寄つたあと、帰りのバスの中で感じられたのか、そのわけを考えていた。

宿泊研修の思い出

二年C組 小上 優

1・2年 学級プロジェクト



一年A組は、休み時間など笑い声でいっぱいです、とてもにぎやかな明るいクラスです。にぎやかすぎて、担任の渡辺先生に、「一日に一回は「うるせえナア」と言われます。その「うるせえナア」という先生の言い方がとてもおもしろく、みんなを笑わせ、もつとうるさくなってしまいます。渡辺先生の授業以外の時もうるさく、注意される事が多いクラスですが、一年A組はうるさいだけではありません。団結力は他のどのクラスにも負けないくらいあると思います。例えば、体育大会では総合二位、合唱コンクールではみごと金賞、文化祭ボスターコンクールでは学級努力賞をとり、一年A組のクラスは賞状でいっぱいです。たくさんの賞をとれたのも、みんなが協力できたからだと思います。その協力しあう学級のチームワークを作ってくれたのが、ホワイトヘアードユーモアがあり、私達を笑わせてくれる担任の渡辺先生です。しかし、うるさすぎる時やクラスの誰かが悪い事をすると、おもしろい時の先生とは全くちがい、とてもこわいです。それによつてはじめのつけられるクラスになつてきました。

私達一年A組は、渡辺先生の「うるせえナア」という言葉とともに過ごしてきましたが、その言葉によつて一人一人が成長したと思います。これからも、渡辺先生のこうかいな笑い声に負けないくらい明るく元気な一年A組でいいと思います。また、何事に対しても積極的にあきらめないでみんなで協力し、心に残る一年A組にしたいと思います。一年A組「うるせえナア」学級ファイトですがんばるゾ!!

(信田 真利記)



うるせえナアー

一年A組

渡辺 淳 級



十人十色

田中 篤子 級



明るく素直なクラス

篠原 五郎 級

一年B組は、男子十七人、女子十五人、計三十二人の普通のクラスのように見えます。…が普通のクラスとは、ちょっとちがいます。それは、一人、一人にいろいろな個性があるからです。なので習つたばかりのことわざの中から、この題名をえらびました。

私達のクラスの担任の田中先生は、年を感じさせないくらいスタイルがいいです。生活のきまり、たとえば香水などについてはとてもきびしいです。一言で言うと、「きびしく、時にはやさしく、見守ってくれる。」というような先生です。

まず、この平和なクラスに起つた事件を一つ、二つ紹介しようと思います。まず、悲しい事にいじめがありました。でも、先生方の協力で解決しました。

しかし、このような、悲しい事件ばかりではありません。それは、大國さんが転入したことです。一年B組の新しい仲間が増えたのです。

このクラスの良い所は、男女の仲が良い事。さらに、他のクラスの人とも、仲がいいです。また、良い所ばかりでは、ありません。悪い所も、ちゃんとあります。でも、その分、いい所がたくさんあるので、ほほいい所しか見えません。

私達、一年B組は、明るく、仲良く、時には集中し、いろいろな面でがんばっています。二年生になりみんなが別れても、この一年間でつくつた思い出は、忘れることはないでしょう。

(下村 美和記)

一年B組

一年C組は、とても明るく、素直な生徒ばかりいます。毎日が楽しそうで時々、先生方に注意を受けることがあります。勉強面では、テストの総合点はほとんどビリですが、スポーツでは他のクラスには負けません。

体育大会では、男子も女子もほぼ全部一位をとり、見事総合得点一位でした。それ各自分達の種目に取り組んでいた時のみんなの顔は、とても活き活きかがやいでいました。

十月の文化祭の合唱コンクールでは、金賞にはなりませんでしたが、短い時間の中でみんなでがんばって練習した成果を本番で出せ、行事を一つ一つ終える度に、クラスが少しずつまとまってきたと思います。

普段の授業では、ほとんど消極的で手を挙げる人はあまりいません。そんな中で時々、篠原先生はシャレを言つてなこませようとしていますが、みんなはシャレの意味がわからず無反応です。それも先生の良い所だと思います。

先生はとても真面目で、き帳面です。そして、数学の時間では、わからない所があると、丁ねいに教えてくれます。

これからもクラスだけでなく、A組 B組と協力し合い、仲の良い学年、学級にしていこうと思います。

(木本・中西記)

一年C組

二年A組



『個性豊かなクラス』

佐藤 雅博 級

私たちのクラスは、個性があふれ、団結力があるクラスです。2年A組には、明るい人や楽しい人、よく歌っている人、勉強がよくできる人、スポーツ万能な人などと、個性がとても豊かでイキイキとしています。

A組の長所は、一人一人が個性豊かで、体育大会や文化祭の合唱コンクールの時には、クラスのみんなが力を合わせて一つになり、団結力があるところです。合唱コンクールの練習だからといって、手をぬかず、厳しい朝練も一生懸命がんばりました。それに、授業中に冗談を言つて笑いとばしたり、男子と女子が仲良しなどというのもあり、楽しいクラスです。

しかし、イイ所だけではありません。逆に短所もあります。それは、「けじめ」がなく、授業中にだらだらしたり、仲がイイために、きちんと話を聞かなかつたり、おしゃべりをして先生に時々注意されたりもしました。もちろん、きちんと授業に集中して取り組んでいる人が多いですが、やはり、「けじめ」をつけるのが、必要だと思します。

こんなイキイキとしたクラスの担任の佐藤先生は、いつもニコニコしていますが、時々「超熱血教師」になり、厳しい面も見せます。それに、「ジャージにかわぐつ」といったユニークな先生です。

残りあとわずかな時間を大切にし、今まで以上にもっと素晴らしい思い出をつくり、最高のクラスにしたいです。

(松田なぎさ 記)

二年B組



大林先生



仲の良いクラス

大山 裕香 級

私たちのクラス、二年B組は、とても、楽しく、にぎやかで、笑い声が教室中に響きわたるほど、明るいです。しかしいつも笑っているわけではありません。今まで、「早く終わって帰りたい」と思つてやつていた掃除も、大山先生のおかげで、早く帰りたいと思うけど最後まで、きつちりできるようになりました。委員会・係活動にも、積極的に参加できるようになりました。うちのクラスに生徒会役員が2人いるのもその証拠の一つかどう。また、部活動にも積極的に参加している人が多く、その中でも、キャブテンなどをやつている人が多いのでそれも二年B組の自慢です。先日行われた合唱コンクールでは、大山先生がいない中、様々な先生たちに手伝つてもらい、たくさん迷惑をかけてしまいました。そうして勝ちとった金賞は、一生の思い出になると思います。大山先生の体の具合が良くなくて、替わりの先生が来ました。小林巧平先生は、若くて生徒思いで、いろいろなことにおいて、とても熱心な先生です。いつも生徒側の視点から、物事を考えてくれます。クラスの中でのレクなどもやることができます。席がえも2週間に1回で、いろいろな席で授業も楽しめます。このように、二人の先生に支えられてきた二年B組はいっそう、先生方への感謝の気持ちが深まつただろうし、クラスの目標の「団結力のあるクラスにする。」というのは、達成できたと思います。三月まで残りわずかですが、二年B組で生活できる時間大切にしていこうと思います。

(水元 聖子 記)

二年C組



思いやりのあるクラス

越田 喜忠 級

二年C組は、やんちゃな人や明るく楽しい人などいろんな人がたくさんいておもしろいクラスです。私がこのクラスの特に良いと思う所は二つあります。一つ目はやる時は一生懸命取り組む事です。先生が何か仕事などを頼んだ時には「面倒臭い」とか文句を言う人が多いけど実際にやれば、みんな真剣に一生懸命やります。頼まれた時には快く引き受けばもつと良くなると思います。

二つ目はみんな優しく協力し合っています。困っている人がいれば助け合ってとても素晴らしいです。

反対に悪い所は授業と休み時間とのけじめがない所です。授業が始まつてもまだしゃべっている時があります。でもほとんどの人は真面目にやっています。

もう一つ悪い所といえば小さないたずらが多い事です。まだ教室でのいたずらだからいいけど、だんだんエスカレートしていくたら大変です。先生がよく注意します。そのおかげで最近はいたずらが少ないです。

越田先生は変わった先生でおもしろいです。でもやっぱり他の先生達と言う事は同じで、勉強になります。ちょっと変わったクラスだけど、これからは良い所はどんどんのばし 悪い所は良くなるよう努力していくらしいなあと思います。残りはわずかな日数だけ楽しく過ごしていきたいです!!

(増谷 美里 記)



校外學習體驗記

いじめフォーラムに参加して

三年B組 房 田 麻 美

私は、昨年十月十四日に、「いじめフォーラム」という会に、出席してきました。そこでは、「いじめについて考える」というのが目的で、たくさんの学校の先生・生徒・保護者の方々が集まりました。いじめにあつた人・昔、いじめていた人・いじめにあつた事もなくいじめた事もない人・たくさんの意見がありました。そこで出会った方々の意見は、私にとってとても貴重なものとなりました。何故なら、さまざまな経験をした方の意見だからです。いじめにあつた人は、つらくてつらくて苦しくて、いじめていた人は本当はこんな思いだったと、何も体験していない人は自分は、こう思うと話していました。皆、しっかりと自分の意見を持っていました。もちろん私は、私なりの意見があります。それは、いじめられている人の本音を言いだせない気持ちをわかつてほしいというものです。人によつてそれぞれ意見は違うでしょう。また、皆、意見を述べていてもそれは心からのものではないかもしれません。が、そう思つた事は確かです。「関係ないから」これは誰にでもある気持ちだと思いません。ですが、たとえ関係なくとも、自分の事のように真剣に考えるべきではないでしょうか。知らない気持ち意見はないと思います。知らない命もありません。私達間は完璧ではありません。弱い所や、間違える所をもつてています。だからお互いに補ないながら生き

ていかなければいけないと思います。

このフォーラムで私は話し合いの大切さを感じました。ぜひ、自
主的に参加して頂きたいと思います。

ノーマリー教室に参加して

三年B組 近 藤 由 梨

私達3年生は、「ノーマリー教室」というボランティア教室に参加し車いすについて学びました。車いすの操作は思った以上に難しく、皆障害者の方々の苦労をこの体験を通して知ることができました。

講師の先生は三人来てください、そのうちの一人の方が車いすを使つて生活している人達の事について話して下さいました。その話は「バリアフリー」といつて段差をなくすことや、入口などのあらゆるドアの間隔を広くする事など、今の社会は不自由な生活を余儀なくされている人達のためにたくさんの努力をしあじめていることを知りました。

今、五稟中学校では毎年この活動を行っています。これはとてもすばらしくとても良いことだと思います。教わった内容がこれから生活の中で役に立つかどうかはわかりません。しかし、もしものために経験しておいた方がいいと思います。もしも役に立つことがなかつたとしても、少しでも今まで抱いていた障害者の方々に対する気持ちなどが変わついたらそれは十分にこの活動の目的を果しているということになるでしょう。

これから少しでも多くの人が、体の不自由な人達を助けられるようこの活動はずっと続けていってもらいたいと思います。

西部散策を終えて

一年C組 伊藤祐樹

愛泉寮にて

三年B組 芦崎真理菜

十月十日に、ぼくたち一年生は、総合学習で西部散策へ行つてきました。

はじめに、各クラスで、班をつくり、班ごとにそれぞれのテーマを決めることから行いました。

そして、西部散策の当日は、各班が、それぞれの研修場所に行きいろいろなことを調べていました。

各班が行つた場所は、教会や寺、墓地、観光地など、いろいろとありました。どの班も、自分たちのテーマに沿つた研修場所へ行き、話を聞いたり、資料を見たりするなどして、よく知ることができていたようです。

その後、学校に戻ってきてからは、どの班も、西部散策を行つてわかつたことや、自分たちの思ったことや、感想などをもとに、も

ぞうしに、調べたことや、調べた結果、感想などを書いたり、写真をはつたり、発表をするための原稿を用意するなどして、発表になっていました。

そして発表では、まずクラス内で発表しあい、各クラスの代表が体育館で発表しあい、無事に終ることができました。

今まで以上に知ることができた、それにいろいろと勉強になったことがあります。ぼくたちにとって、いい経験になつた西部散策だった

校外学習体験記

三年C組 根本雅美

学校の帰り、玄関で先生に呼び止められた。愛泉寮でのボランティアの人数が足りなくて…。一緒にいたNさんとともに夏休み中参加することになった。そのときは軽い気持ちでいたのだが、二日間を終えて、とても充実し、参加したこと意義があったと思う。

少しの期待とたくさん不安を持ちながら私達メンバーは焦りました。そして、その不安は瞬時に消え去った。すぐにみんな友達になれたし、難かしい事もあつたけど、一秒一秒の時間がとても楽しく思えた。例えば、車椅子での移動・操作。お年寄りの食事の世話。中でも最も自分が頑張れだと思った仕事は、二日目の愛泉祭の準備、そして実際に売り子になるというものであった。それぞれ自分の担当につき、思い思いに気持ちを込めて売った。その結果、完売という一つの目的を果たせた。

今振り返ってみると、この二日間でボランティアに対しての見方が変わったのだと考えられる。自分の善意で人に喜ばれるというのはとても良い事だし、多くの発見を得る事が出来るから。

あの時、先生に呼び止められて良かった。そして、おばあちゃん可愛いかったです。

今年夏になると、ボランティア委員のメンバーは野外劇に出ることになっています。今年の夏も、参加することが決まり、予定のな

かつた私も出ることにしました。正直なところ、めんどくさい気持ちと参加したい気持ちとが五分五分に入り交っていました。

五稜郭公園で集合して、さっそく衣装を着がえることになりました。衣装は、アイヌの服や、ゆかたなど多種多様で、役は一人二役ぐらいのことになっていました。私はアイヌ民族、町娘、マリア役でした。特に印象に残ったのが、町娘として出た時に村人の人達と輪をつくり、踊ったことでした。いろんな学校の人達、その場で出会った人達と協力して劇をつくりあげたことは感動的でした。わからない事があつても、ベテランのおばさん達が教えてくれるのでとても助かりました。

そして、参加する前のあのうやむやな気持ちは、劇に出ることに夢中になり、自然と消えさっていました。友達や、家族も一緒に受け入れてくれるの、けつこう気軽に出来る事ができます。野外劇に一度も出たことがないという人は、一回は出てみた方がいいと思います。去年は五稜郭中からあまり参加者がいなかつたので、今年は多くの人に参加してもらいたいです。

長崎を訪れて

三年A組 井口 由紀乃

私は今年の夏休み、「平和大使」として長崎へ行きました。それまでも私は、戦争や原爆のことについて、教科書にのっている程度のことしか知りませんでした。

長崎で、実際に被爆を体験した方の話を聞いたり、原爆資料館で戦時中の生々しい写真を見て初めて、戦争のおぞろしさを強く感じました。資料館には、人間の手の骨とガラスがくつついたものが展

示されていました。高熱のため、骨とガラスが溶けてくつついたらしくです。展示されていたもの全ては、このような、いまでは信じられない悲惨なものばかりでした。原爆の破壊力やおそろしさがひしひしと伝わってきました。そして、戦争や原爆について、今まで無関心でいた自分をとても恥かしく思いました。

「戦争」について意識をあらためながら、「平和」について考えさせられました。長崎にいる間、たくさんの人達と、意見交換をしました。印象的だったのは、「どんな小さな環境問題でも、一人一人が自分の問題としてとらえることが、平和につながる。」という意見です。

では、平和な世界をつくるために、私たちには何ができるのでしょうか。身近なものを考えると、いじめをなくし、暴力ではなく話し合いで物事を解決する力を身につけることが平和への第一歩だと思いました。

長崎での体験を通して、学校でも、みんなで戦争や原爆について真剣に話し合い、考え方理解する場が必要だと思いました。まずは私が生徒会長として、今回学んだこと全てを全校生徒に伝え、そして学校で取り組める、平和づくりを進めていこうと思います。

最後に、来年、広島、長崎に派遣されるみなさんにも、ぜひ、和平の大切さを学んで、より多くの人達に伝えていくてほしいと思います。

文苑

親

切

三年 吉村裕愛

とても蒸し暑い夏休みのある日に、ぼくは友達の家へ向かってバスに乗った。バスの中はすごく混んでいて、何人かの人気が立つていてるくらいだったが、ぼくはなんとか座ることができた。

しばらくすると一人のおばあさんがバスに乗りってきた。そのおばあさんは、少しの間辺りをキヨロキヨロと見回していたが、席がないといつないことに気づいたようで、しかたなく乗ってきた。そのおばあさんは、この暑さでとても疲れているらしく、少しのゆれでも必死に柱にしがみついている。

その様子を見ていたぼくは、すごくいたたまれない気持ちになり、席を譲つてあげようと思ったが、声をかける勇気がなく、どうし

ても行動にうつす事ができなかつた。するとぼくよりも小さな小学生くらいの男の子がすくと席を立つた。男の子はおばあさんの前まで行くと「ぼくの席、座つていいよ。」と言ひ、おばあさんの手を取つて自分が座つていた席までつれていつてあげたのだ。その時のおばあさんはとてもうれしそうな顔をしていて、見ていたぼくまでなんだかうれしくなつてしまつた。しかしその半面、すぐ行動にうつす事ができず、結局席を譲れなかつた自分を情けないとも思った。

バスが四つの停留所に着くと、おばあさんは「ありがとう。」と少年に一言いつてゆつくりバスを降りていつた。ぼくも、丁度そこでの停留所で降りる予定だったので急いでかけ降りた。するとそこにはまだおばあさんがいて、また辺りをキヨロキヨロと見回している。

さつき席を譲れなかつた分何か役に立てる事はないかと思い、勇気を出して声をかけてみると、行き先の場所がわからぬのだという。住所を聞くと、偶然にも自分の目的地のすぐ近くだつた。さらに勇気をふりしほつて、連れていつてあげましょうかと聞くと、おばあさんはうれしそうな顔でコクリとうなづいた。

ぼくは何か大切な物を届けているような気持ちはおばあさんと歩き、最後までしつかり

と見送つた。その後、ぼくはとてもすがすがしい気分で友達の家へ行くことができた。

自分はおばあさんのうれしそうな顔を見られて本当に良かつたと思う。もし、あの時にもできずにいたなら、おばあさんの困った顔がいつまでも忘れられず、きっと後悔していただろう。

相手が心からよろこんでくれる。だから、自分にできる親切をしていきたい。

とてもむし暑い夏休みのある日に、ぼくはそんなことを考えた。

〔私の主張〕発表作品

人の命

三年 佐藤有香

今年の夏、私はある出来事によつて、人の命について考えさせられました。

その事を知らされたのは、二学期の始業式のことでした。中体連までの二ヶ月間、私達バレーボル部を指導してくれた、小林先生が亡くなつたという知らせでした。

聞いた時はびっくりしました。本当に信じられないという気持ちでした。その日私は先

生の告別式に行きました。そこで見た先生の写真はすごくいい笑顔でした。その写真を見ながら私は、ものすごく後悔しました。

最後の中体連の日。一回負けという残念な結果で終わって泣いていた私は先生は「ありがとうございました」と握手をしてくれました。それなのに私は、きちんととした「ありがとうございます」と気になつていきました。手紙とか電話でもいい、とにかくお礼が言いたいと思つていました。

中体連が終わってから私はそのことがずっと気になつっていました。手紙とか電話でもいい、とにかくお礼が言いたいと思つていました。
だから、先生が亡くなつたと聞いた時、そのたつた一言の「ありがとうございました」が伝えられなかつたと言う悔しさがあふれ出していました。先生が私達バレー部に「ありがとう」と言うのではなくて、二ヵ月の間、私達が先生に教わつたことは数えきれません。練習中はすぐ怒られました。けれどそれはいつも私達の目標がかなうように考えてくれたからでした。厳しい顔とやさしい笑顔でバレーを教えてくれた先生を、私は尊敬しています。こんなことになるなんてどうして、という気持ちでした。

私は、今まで身近な人が亡くなつた事がないので、もう悲しくて悲しくてしかたがありません。先生の死によつて、私は命の尊さ、写真はかなさを考えさせられました。

今思えば先生の最後の言葉が「ありがとうございます」で良かったと思います。「ありがとうございます」の一言に込められた先生の優しさが伝わつてきました。これからは、先生に教わつたことをずっと忘れずにいきたいと思います。

(「私の主張」発表作品)

ゴミ問題を考える

二年 佐々木 祐 賴

今の日本は、ゴミ問題という、とても大きな問題を抱えている。町ではみんな、すぐゴミをポイ捨てし、自分の町を自分の手でよごしている。さらに日本にある巨大なゴミ捨て場も、あと二十年、いや十五年もすれば使えないとなり、その結果、日本中にゴミがあふれることになるかもしれない。そうなれば動物達も住む所が減少し、さらに僕達人間も住めうか。お菓子は体にも悪いし、ゴミも出る。

だからこそ、まずお菓子を小さくし、ゴミを少なくする。そしてみんなが今使つているものをすぐ捨てずに、大切に使うように心がければ、ゴミが少なくなるはずである。しかし、これでは町でのゴミのポイ捨ては解決されない。ゴミのポイ捨てをなくするために、どうすればよいのだろうか。これはみんなの考え方には問題があると思う。今の人には、ゴミ箱が近くにあつてもゴミ箱には捨てずに、そのへんの道路や歩道に捨てる人が多くなっている。このようない人は、自分が悪いことをしているとは思つていない。自分には関係ないからいいや、とか、これぐらい捨てても関係ないか、とか、そういう「自分には関係ない」という考え。そしてこのような自己中心的な考えが自分の町をよごす原因になつていて。だから、そういう自己中心的な考えをなくし、自分は悪いことをしているということをわからせないと、ゴミのポイ捨てという大きな問題を解決することはできないだろう。

しかし、そう簡単に解決できたら苦労はない。今までそういうことを呼びかける運動を何回もやつてきた。学校でもゴミのボイ捨てはいけないということを教えられてき

た。それでもポイ捨てをする人は一方的に減らない。なぜ減らないのだろう。それは日本が甘すぎるということも考えられる。日本には外国のようにゴミをポイ捨てる罰金というふうに厳しい法律が一つもない。だからみんな簡単にゴミを捨てるのである。こんなことではゴミのポイ捨てが減るわけがない。日本も早めに厳しい法律を作ったほうが、将来的自分達のためになる。厳しい法律を作れば、ゴミをポイ捨てする人も減り、みんなの自己中心的な考え方も変わってくるだろう。一人がポイ捨てをやめれば、まわりの人間もポイ捨てをやめる。というように、一人がやめればみんながやめるということをみんながわかつて、少しづつポイ捨てをする人を減らすことが大切である。

今の日本には、ゴミが町じゅうにあふれて手遅れになる前に、みんながポイ捨てをやめるために厳しい法律を作り、ポイ捨てをする人の考え方を変えることが、ゴミ問題を解決する近道になるかもしれない。

(「私の主張」発表作品)

ポイ捨て禁止令

二年 宮田 謂

自分は、外ではポイ捨てをぜつたいしたくないと思う。しかし、僕も、ダイエーのレシートとかを捨てたことがあるような気がする。でも十三年間の中では、十回程度くらいしかないと思う。友達がポイ捨てをしているのを見ると、そいつに腹が立つ。なぜならば、その一人一人がしっかりとゴミを捨てなければ、地球がもだないような気がするから…。

みなさんは、車の中からゴミを外へ投げ捨てたり、信号待ちで止まっている車がドアを開けて空缶などを置いていくのを見ました。その人たちは何を考えているのでしょうか。かつこいいからなのでしょうか。かつこいいからなのでしょうか。とてもも許せません。

八月に海に行きました。海はとてもよございていて、空缶や、よくわかりませんが布なども落ちていました。僕の海へのイメージはめちゃくちやになりました。なんと暗いことでしょう。少しくさいですが、「海が泣いています」と思いました。またとてもきれいな海にするにはだいぶ時間がかかりそうです。

世界中の人たちが、泣いている海を元の海に

にしようと思つて行動を起こしても、やつぱり時間はかかると思います。それだけ、自分たち人間のやつた罪の重さをわかつてほしいです。そんな汚い海は、オキナワみたいな青の入浴剤を入れた感じの海にはならないのです。しかし、だからといって、オキナワの海がキレイだとは言えません。オキナワだってきっとキレイに見えるだけで、傍に寄つてみれば汚いんじゃないかと思います。

でも日本のいろいろな地域ではいろいろな運動にとりくんでいるそうです。函館だってやつてているんですよ。燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミに分かれています。上磯なんすごいですよ。燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミは四種類に分かれています。こんなふうに、日本全体で行ってくれるといいですね。いや世界でも行ってくれるといいですよ。もし、僕が大統領だったら「ポイ捨て禁止令」というきまりでも作りますね。ポイ捨てしたヤツは五〇〇〇〇〇円以下の罰金が懲役二年くらいにでもしますね。シンガポールでは、もうそういうことをやつてているそうです。ゴミを捨てたり、たん、つばなど

を吐いたりする行為は罰金の対象になります。

そこまで厳しくするのには、やはり地球温暖化の問題などが関係しているのでしょうか。

日本でも、このように厳しくすると、きっとゴミをゴミ箱に捨てているヤンキーなどの姿が見られるかもしれませんね。はやくゴミを減らす対策に取り組んでくださいよ。森総理大臣！

(「私の主張」発表作品)

「大丈夫？」
「ケガはない？」

私と妹は父と母に抱きしめられていました。タンスもテレビも冷蔵庫もひっくり返り、全くもとの様子がないくらいに、ひどい状態で、食器やガラスのはんがとびちって、ぐちゃぐちゃでした。

私達はすぐに避難しました。家を出ると、ビルは傾き、何軒も家がくずれ、真っ赤な炎が辺り一面を照らし、あまりのおそろしさに泣く事も忘れていました。避難所につくとすぐ、父はお年寄りのお世話をしていました。母は、私と妹の手をずっと、にぎついてくれました。私は、そのあたたかい手のぬくもりによって、心が落ち着いていったような気がします。

一週間避難所で過ごした後、母と私と妹は広島の祖父の家に、三ヶ月間疎開することになりました。とても家に住める状態ではありませんでした。でも父は、遠くにいる私達をかたからです。でも父は、遠くにいる私達のことをとても心配し、私達もずっと父のことを思っていました。初めて家族が別れて生活することになり、あらためて家族のありがたみを感じました。

あれから六年たち、神戸も元気をとりもどしました。その一年のことです。神戸を中心とした、阪神淡路大震災が起きました。みなさんもニュースを見て、よく知っていると思います。

私は、小学校一年生の時、神戸に住んでいました。その一日のことです。神戸を中心とした、阪神淡路大震災が起きました。みなさんもニュースを見て、よく知っていると思います。

その日の朝、まだ眠っていた私を起こしたのは、いつもの優しい母の声ではなく、大きなおそれらしい音と、ものすごいゆれでした。あまりのおそろしさに声も出ず、ぼう然としていた時、私を呼ぶ声が聞こえました。

「ゆうな。」

父と母の声でした。

今思うと、この時初めて家族というものを実感したような気がします。命にかかる大事件がおきた時、私を支えてくれるのは、やっぱり家族なんだなあと思いました。父や母にとっても初めての経験であった、こんな大変な出来事の中、私達を一生懸命守つてくれました。

人間は一人では生きていけません。助けたり、助けられたりしながら、人に守られて生きているのだと思います。私はこの地震を体験したことで、命の大切さ、人が人を思いやる心の尊さ、家族の大切さを胸に焼きつけました。この気持ちを、ずっとずっと大切にしていきたいと思います。

(「私の主張」発表作品)

• 読書感想文 • • •

「だから、あなたも生きぬいて」を読んで

一年 中 西 理 沙

「イジメは嫌だ。イジメからは何も生まれない。」

思わず叫びたい気持ちで胸が一杯になりました。

大平光代、三十四歳。当時中学一年の夏、転校が彼女の人生を大きく変えました。いや狂わせてしまったのです。不良少女の声がけに返事をしなかった。たつたそれだけの理由でクラス全員が無視、悪質ないたずら、言葉暴力いわゆるイジメを彼女は毎日受けた。今のはすぐキレル・ムカツク等と言い、自分勝手で相手の気持ちも考えずに傷つける。肉体的な傷は時間が経てば治るが、心の傷は時間が経つても一生心のどこかで痛み続ける。子供に限らず、大人の社会、そしていつの時代にもイジメは無くならない。ますます増える一方。なぜイジメというものがあるのかと思うと、怒りと同時に悲しみを感じました。

もし私のクラスに転校生が来た時、自分だったらどうするだろう。その人の友達になつたらどうするだろう。その人の友達になつて支えイジメを解決しようとするのか、それともイジメをする側にまわってしまうのだろうかと。頭の中でイジメは悪いと解つても、いざ自分や友達の身にぶりかかった時本当にイジメに立ち向かう勇気があるのか。少なくとも一人で悩まず、家族や先生、心から信頼できる人に相談したい。そして常に前向きに生きる事を考えてみたいです。

彼女が受けた恐怖、不安、孤独、悲しみは、体験した事のない私には一言で表現できない

けど一つだけ同情できない点がありました。それは親友から裏切りから自殺を図った事。辛いイジメを乗り越えようと出来た親友、彼女にとって宝物であったはずの友からの裏切りは、私も死にたい、復讐してやりたいと考えるかも知れないが、自殺をする事は絶対にいけない。何の解決にもならない。どんな事があつても親より先に自らの手で死ぬのは親不孝者。世界にたつた一人しかいない自分をもっと大切にしなければいけない。

その後の彼女は非行の道を転がり続けるが、二十二歳の春、ある人との再会で本来の姿を少しずつ取り戻し、中学時代にイジメをした人達への復讐を、資格を取るという目的で果たす。中卒といつても小学校位の知識しかない彼女の勉強方法は独学に近く、何度もつまずき、途中で投げ出したかたと思います。しかし最後まで頑張れたのは、自分という存在を常に認め、励ましてくれる人が側にいたからではないでしょうか。

誰にでも過去がある。大平さんは自分の歩んできた人生を隠さず、今では自分の経験を生かし非行の子供達と真剣に向き合い、その家族の為に弁護士の肩書を執着する事なく自転車で走り回っている彼女に拍手を送りたい。

す。そして世の中に必要のない人間は一人もないし、一人一人皆いい物を持っているはず。人を嫌わず、人の良さを素直に認められる人間になりたい。

私は、人間にはいろんな可能性があり、いつも出発点で、転機が訪れるそのチャンスを見極める知識と心を毎日の生活の中から養っていく努力をしなければいけない事を学びました。

つい先日、小学校の先生から手紙が届きました。

「これから進む道には、様々な障害物がある。しかし一つ一つの障害物を自分の目で確かめ、落ち着いて考えれば必ず乗り越えられる」と。人生はまさに障害物競走の様に跳んだり、ぐぐったり。時に障害物が大きくて立ち止まる事があるかもしれないが、諦めず一歩一歩進んで行きたい。大切なのはどの様に立ち向かい、どの様に乗り越えていくかで

あります。

誰にでも過去がある。大平さんは自分の歩んできた人生を隠さず、今では自分の経験を生かし非行の子供達と真剣に向き合い、その家族の為に弁護士の肩書を執着する事なく自転車で走り回っている彼女に拍手を送りたい。

人と人との時間

一年 中 村 佳奈子

私がこの「生きるピント4」を選んだ理由は、人が生きる事にヒントがあるとはどういう事だろうと思ったからです。また、なぜ「4」なのかというと、見出しに、本当の自分を探すための十二章と書いてあって、おもしろそうだと思つたからです。

私は話の中の「触る」という事について、読んでみました。この「触る」という話は、大きく二つに分かれていて、清潔についてと現代の社会について書かれています。

私はこの話を読んで、清潔という事は、良い事なのか、悪い事なのか考えました。この本を読んでいない人は「清潔は良いことだ」という考えがあたりまえだと思います。私も初めは清潔である事があたりまえで、不潔なんてどんでもないと思っていました。しかし清潔に対する行き過ぎた考え方は、どうなかと思いました。

ある日、作者が電車に乗って仕事場へ行く時、ある事に気づき、不思議に思つた。それはベンチ式の長いシートに座つてゐる若い人

達がちょうど十センチから十五センチくらいずつ間隔をあけて座つていた。それに、隣の人と体が接触しないように。そしてその間に年寄りの人などが座り込んでくると露骨にいふ事だらうと思つたからです。

だ、という事がよくわかりました。こんな事があるから、現代の問題でもある少年達のケンカの限度を超えた傷害事件、殺人事件さえも起つてゐるのは、やっぱり、人と人との接する時間がないからではないか、と私は時々思つたりもします。このようなめまぐるしい事件がたくさん起つて、世界が暗くなる…。

じゅうをしたり、狭い場所に五、六人もかくれて遊んだりして。それに比べ、今の時代は、人間同士、できるだけ相手に触れないよう暮らしたいと思う人が多くなつてきただ。それはどうしてなのか、作者が考えた事は、こうでした。

「最近の人は、人間くさい事が嫌なんじやないか。」

私は作者の文に、なるほどと思いました。確かに、バスに乗ると、人の声ではなく、テープから流れる案内の声。駅に行けば、ゴルフやいろいろなゲームだって、人を相手にしなくともできる…。

店員のいる店で物を買い、短い会話をかわしているより、自動販売機で買った方が気が楽で良い。そう考える人が多いような気がします。最近の人が、まさに人と接する事が嫌



俳句(三年)

淹の音獅子の鼻先石つめて	鎌田 大輔	夏浅し岩に囲まれ舟の上	鶴見 清香	すきとおり海底見える初夏の海
わが心清水とともに流れ聞く	石井 秀平	岩々にみちびかれゆく夏の風	竹内ひとみ	竹内ひとみ
音の道鏡の反逆みずしぶき	下川 悠太	涼しさに肌身震わす龍の穴	土橋 美美	ああ涼し夢見る景色川流れ
仕事終え暑さ忘れる草の上	森 弘太	汗こおる龍のすみかはエメラルド	神 高橋 正文	岩はだが淹を思はず絶景だ
新緑と音の空色夏模様	井口由紀乃	敦澤 佑太	和彦 渡辺 俊亮	初夏の日も届かぬ間はアヤメ色
五月晴れ白きゆか照る海辺かな	大友 裕子	新緑の若葉きらめくげいび溪	横山 勝	最終日五月雨降りて悲しけれ
初夏涼し水面に浮かぶ舟と花	小川枝里子	うら寄せる静かな波が風鏡に	花田 健	洞窟の中に入ると涼し風
背空とはやを引きつれ舟下り	今野あさみ	音涼し流れにゆだね舟下り	横山 泰孝	初夏の戻の巻りに誘われて
高原はさらさら新緑あふれてる	高橋 弓子	外見れば田植えする人汗ながし	小野 直美	初夏の戻歌にあわせてゆれる舟
夏浅しきらきら光る花をつみ	佐藤 爽子	雲の峰南部方富士浮かんてる	熊谷 宇見	夏めいた美し川に光さす
水音く豊かな自然は別世界	田中 美子	五月晴れ白きゆか照る海辺かな	近藤 由梨	透き通る風と心と夏の川
舟下り流れる淹が涼しげで	杉本沙哉佳	舟頭の歌声響く清水に	丹羽 彩香	佐藤 有香
田中 育美	五月晴れ暑さ忘れる水しぶき	五月晴れ暑さ忘れる水しぶき	水上 結子	五月晴れ心がなごむ舟下り
舟下り流れる淹が涼しげで	水戸部有華	舟の上若葉の風にたそがれて	水野 紗理	島村 智子
舟下り流れる淹が涼しげで	水戸部有華	舟の上若葉の風にたそがれて	水野 紗理	島村 智子

短歌（二年）

年越し二〇〇一年だけれども遊んでいては宿題終わらず

船山 貴裕

冬休み今年こそはと勉学に励む姿に母涙する

森 浩平

新世紀ゴーンゴーンと鳴り響く除夜の鐘が夜の街へと

鎌田 群

華やかな裾広がりのスカートでイチゴケーキにナイフを入れる

伊藤紗智子

新世紀未来に向けて歩き出す今年は花の受験生

早坂 隆弘

冬休み塾と宿題で忙しく休みの文字は一体どこへ

佐藤 仁美

除夜の鐘港の汽笛と鳴り響き夢は広がる二十一世紀

阿部 真由子

新聞のゲーム一つで時忘れ熱中することAM3時

堀見 綾子

冬休み新年以来に風邪引いてやっぱり思う健康一番

伊藤 正枝

露天風呂湯舟につかりほっとして夜空に光る月をながめる

中尾 祥一

雪がもう溶けなくなつて冬がもう此處に居ることようやく気付く

佐藤 ありす

元旦にボストに走り手に入れる年賀状見て友達を思う

大内 ももこ

初夢は学校にいて階段の掃除をしてたような気がする

高井 麻里子

雪降る夜多き鐘の音響くなか新たな世紀にカウントダウン

工藤 幹子

中体連力を合わせがんばった勝つても負けても後悔しない

平松 明恵

氷点下雪もちらつき思白く身体に電気がぶるるっと走る

高畠 美里

お正月明ければすぐに受験生花の季節もわれには遠く

増野 幸子

「ありがとう」素直に言えないこの言葉母に対する思い深まる

山田 愛

初詣で絵馬に願掛け祈る顔自分の姿だぶつて映り

石川 洋平

目を閉じて冬の匂いを感じると蘇りくる昔の記憶
冬の朝通学路には雪が舞いきしむ雪音耳に伝わる

本間 久美子

なにげなく今年も聞いた除夜の鐘しかし我らは世紀を越えた

谷口 尚広

空に飛ぶ枯れ葉の思い伝えゆく秋空の中野第一輪

藤井絵理華

本を読み暗闇じれば見えてくる作者の姿ここにあらわる

寺内 真

東 児子

川柳（一年）

大みそか除夜の鐘鳴り新世紀	初日の出一度くらいは見てみたい
冬休み自由の陰に悪魔住む	成人の式場での柄悪さ
一〇〇一迎えるときは夢の中	金
新世紀使いすぎたなお年玉	隼人
新世紀昔のことは忘れない	近藤 由規
ミレニアム希望を胸に突進だ	小山 勝也
口ト6みんな求める四億円	生島 裕希
コマよりもたこあげよりもお年玉	中川 昌太
あと百年生きているなら新世紀	高橋 和也
お年玉いつまでたつても姉越せず	高橋 和也
お年玉もううかげには親負担	川村 佳菜恵
信田 真利	笠原繪理香
受験生最後の最後は神だのみ	松葉 俊宏
お年玉もらうかげには親負担	丹羽 裕香
渡辺 結衣	雪印不衛生から事件呼ぶ
お年玉なぜ妹と同じ額	杉本 真衣
お年玉いつまでたつても姉越せず	高橋 えみ
あと百年生きているなら新世紀	村上 佑奈
お年玉いつまでたつても姉越せず	横山 博美
お年玉もううかげには親負担	渡辺 清美
大そうじ手が冷たくてもういやだ	上杉 健太
お正月おせち料理でいっぱいだ	高村 繁幸
初詣大吉あてでじまんする	木田 晶大
大ぞうじ手が冷たくてもういやだ	川村 一哉
なつた気がぜんぜんしない新世紀	伊藤 祐樹
すぐ去つただんご三兄弟は今どこに	上杉 健太
始業式心中はお正月	対馬 隆元
お年玉この時だけは礼を言う	花田 宗平
病院に急患入るイブの夜	浜地 直宏
テスト前わめく私をにらむ母	古村 侑也
雪印不衛生から事件呼ぶ	鎌谷友紀子
冬休み日にちを見るたびぞつとする	杉本 真衣
年賀状なつかし友の顔うかぶ	木本由希奈
宿題ができずにいつも始業式	篠崎 菜摘
勉強中ドアに札かけ昼寝中	中西 理沙
冬だけど日光変わらず暖かい	山村 明未



相談員	期限付	教諭	養護	教頭	校長	平成十二年度	事務	用務	相原	邦夫
今井	小林	輪島	大山	佐藤	桑野	越田	佐野	日直	高島	高野
正夫	巧平	山口	裕香	雅博	田中	阿部	山本	給食	稻垣	山口
		陽子	哲也	康幸	篠子	菊地	大宅	用務	良子	樺山
				健一	豊子	森	伊勢	高島	雄二	邦夫
				真美	篠子	鶴	渡辺	稻垣	秀夫	相原
				宗三郎	淳	谷	五郎	高野	榮子	高野
						篠原	嘉忠	良子	雄二	邦夫
						鶴	健剛			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			
						谷	淳			
						篠原	五郎			
						鶴	嘉忠			

編集後記

編集委員長 井口 由紀乃

皆さん、今年の生徒会誌「五稜」はいかがでしたか。「五稜」を作成するために、編集委員会は11月から動きだしていました。そして、皆さんからたくさんの原稿が集まり、このよう立派に完成することができました。

「五稜」には、一年間の生徒会行事や学級生活のあゆみなどがまとめられています。また、たくさんの思い出がつまっています。今読んでも十分に楽しめるのですが、大人になつてから自分の青春時代を思い出すためにも、とっても役に立つと思います。ですので生徒会誌三年分は、いつまでも大切に保管しておいて下さい。

そして、五稜中には卒業文集が存在しないので、三年生にとつては、これが卒業文集のようなものです。中学校生活での経験を糧にして、高校でも更に色々なことを経験しましょう。一、二年生も、一年を振り返り、今後の目標を立ててみて下さい。

最後に、忙しい中、一生懸命原稿を書いてくださった皆さん、ありがとうございました。

編集委員

△三年▽

井口 由紀乃

伊藤 柚樹

△一年▽

渡辺 結衣

△二年▽
藤島 大友
寺谷 有宇
水戸部 雪絵
熊谷 華子
大谷 見子
水戸部 準

武田 谷

桃子

依子

△一年▽
藤島 大友
寺谷 有宇
水戸部 雪絵
熊谷 華子
大谷 見子
水戸部 準

大石 多

川内 田

塚田 元

田中 圭

ももこ



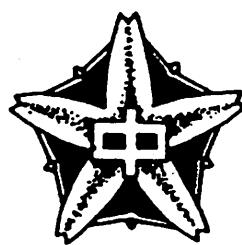
平成十二年度生徒会誌

「五稜」第40号

発行日
平成十三年三月十五日

発行
函館市立五稜中学校生徒会
印刷
有限会社共立印刷

函館市吉川町六番六号
電話〇二三八四三一七六五〇



函館市立五稜中学校生徒会